

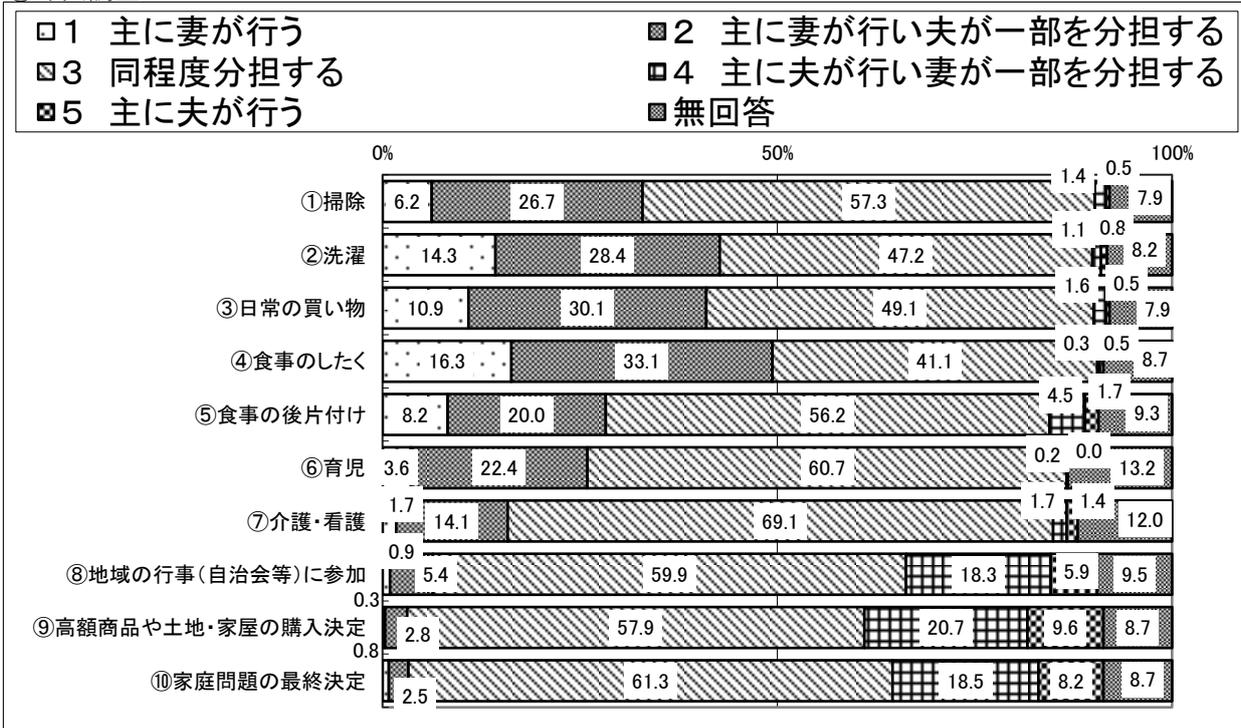
問8 理想としては、どのように分担するのがよいとお考えですか。
 次の①～⑩の項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。
 (N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

家事、家庭生活の役割分担の理想について、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した割合が最も高いのは「食事のしたく」(49.4%)、次いで「洗濯」(42.7%)、「日常の買い物」(41.0%)であり、この傾向は前回調査と同様である。

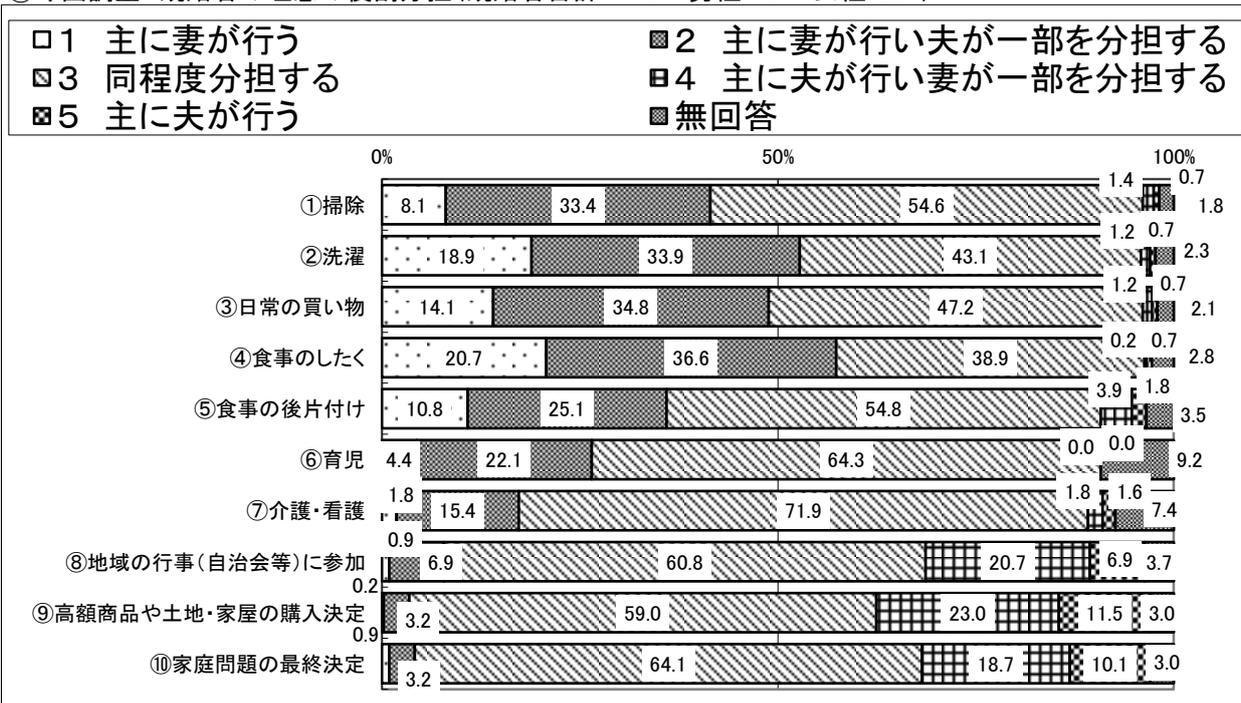
上位3つの項目以外は「同程度分担する」と回答した割合が高く、なかでも「介護・看護」については69.1%と最も高かった。

既婚者の理想の役割分担では「地域の行事(自治会等)に参加」「高額商品や土地・家屋の購入決定」「家庭問題の最終決定」の項目で「主に夫が行う(妻が一部負担含む)」と回答した割合が、他の項目より高い。

①今回調査



②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計N=434 男性=197 女性=237)

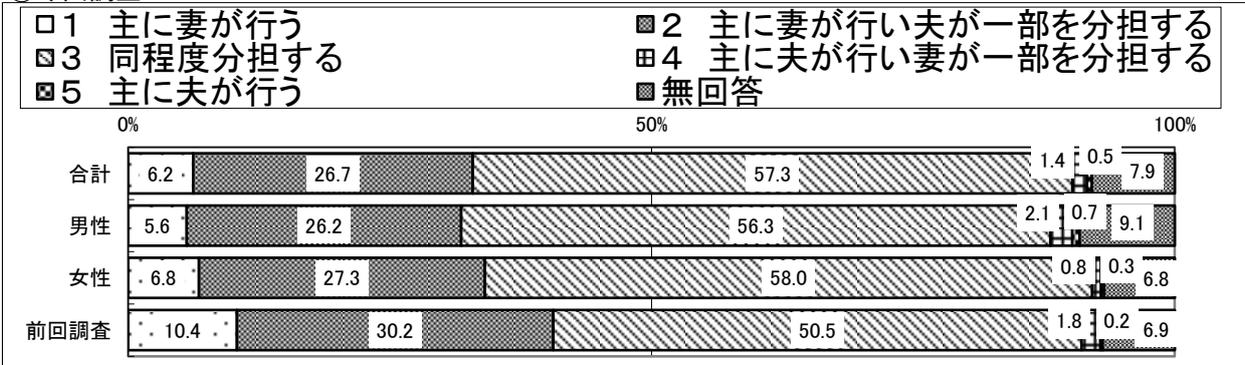


問8(1)理想の役割分担 掃除

掃除の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは32.9%であり、前回調査(40.6%)より7.7ポイント減少している。

男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(31.8%)は前回調査(34.9%)より3.1ポイント減少し、女性(34.1%)は前回調査(45.1%)より11.0ポイント減少している。

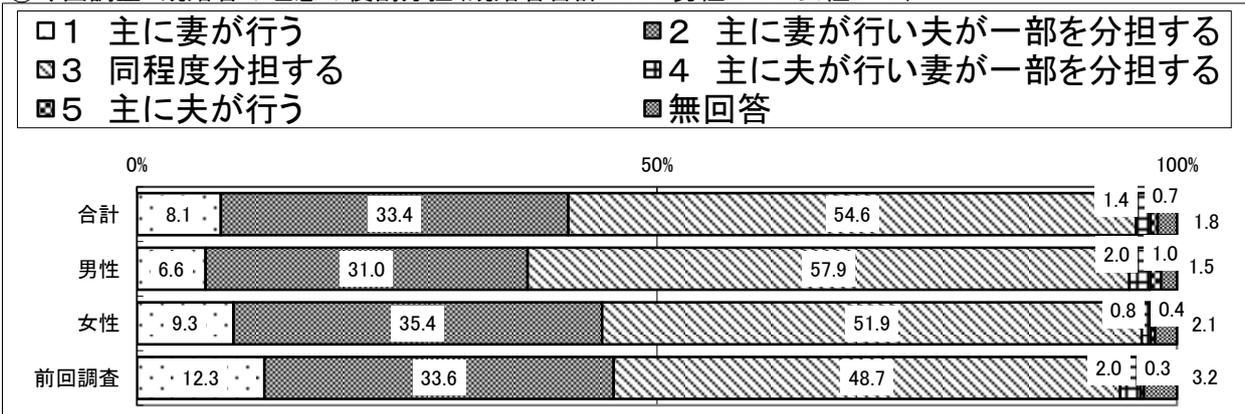
①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは41.5%であり、回答者全体(32.9%)と比較すると、8.6ポイント高い。

「同程度分担する」は回答者全体(57.3%)、既婚者(54.6%)共に5割を超えている。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)

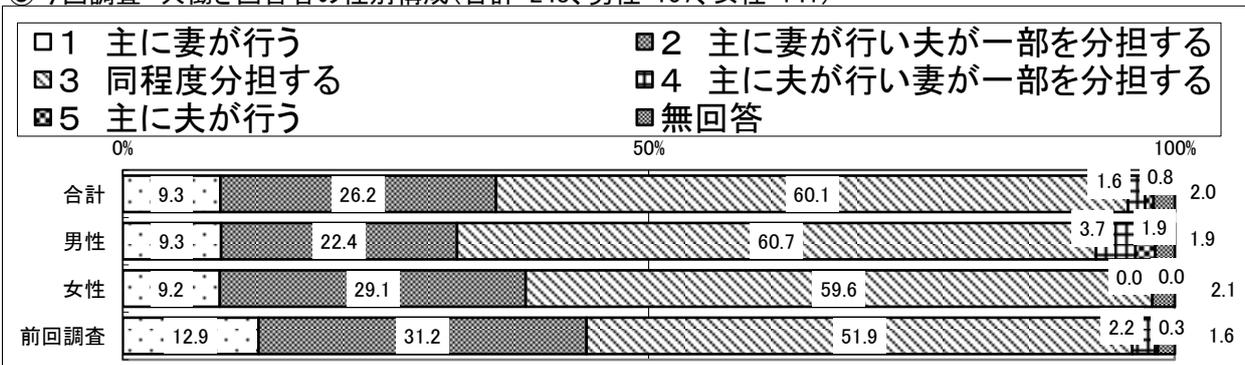


共働きの回答者に着目すると、掃除を主に誰が担当するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは35.5%であり、回答者全体(32.9%)より2.6ポイント高い。

前回調査(44.1%)と比較すると、8.6ポイント減少している。

男女別にみると、男性(31.7%)は前回調査(41.6%)より9.9ポイント減少、女性(38.3%)は前回調査(45.7%)より7.4ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

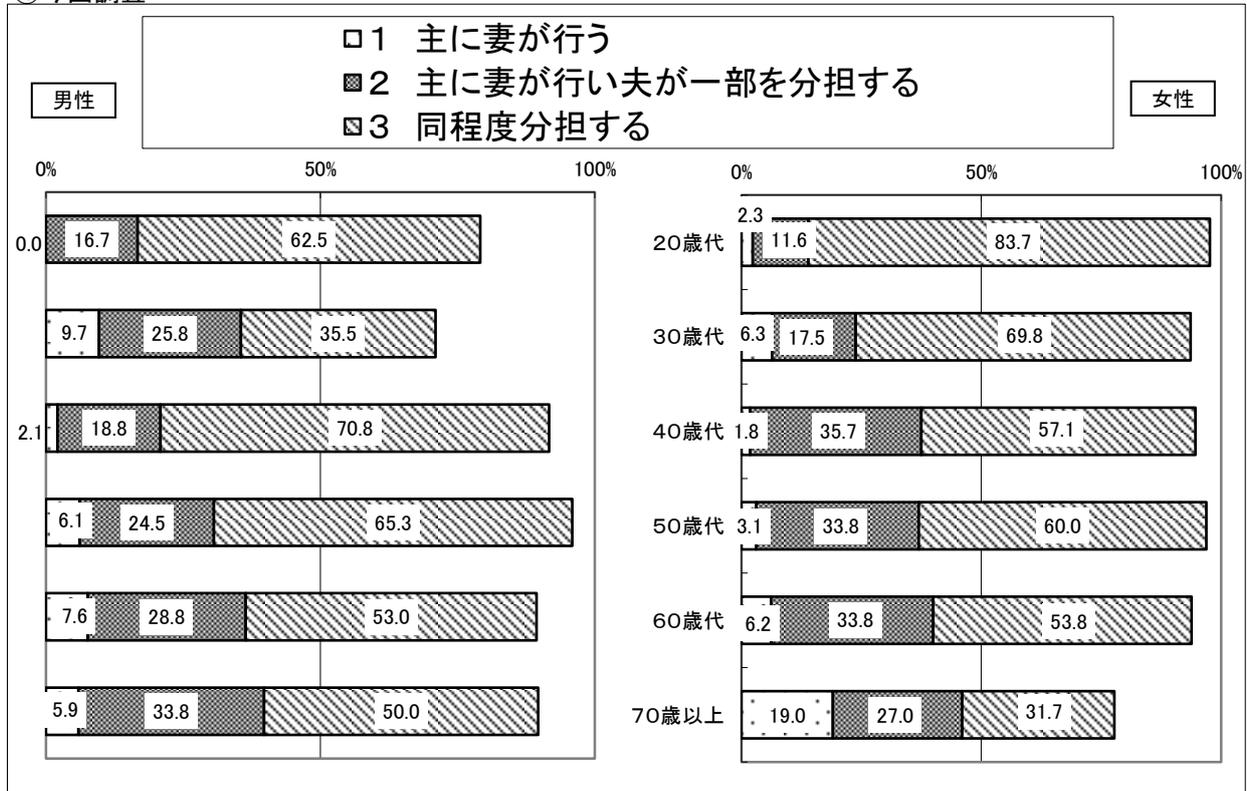
【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男女共に「70歳以上」であり、男性39.7%、女性46.0%である。

「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「40歳代」であり、男性(20.9%)と女性(37.5%)では、女性が16.6ポイント高い。

④ 今回調査

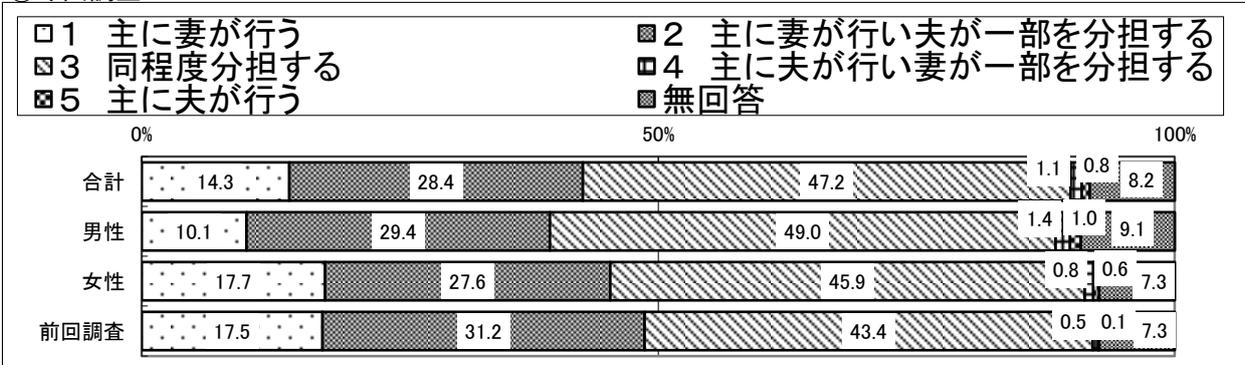


※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(2)理想の役割分担 洗濯

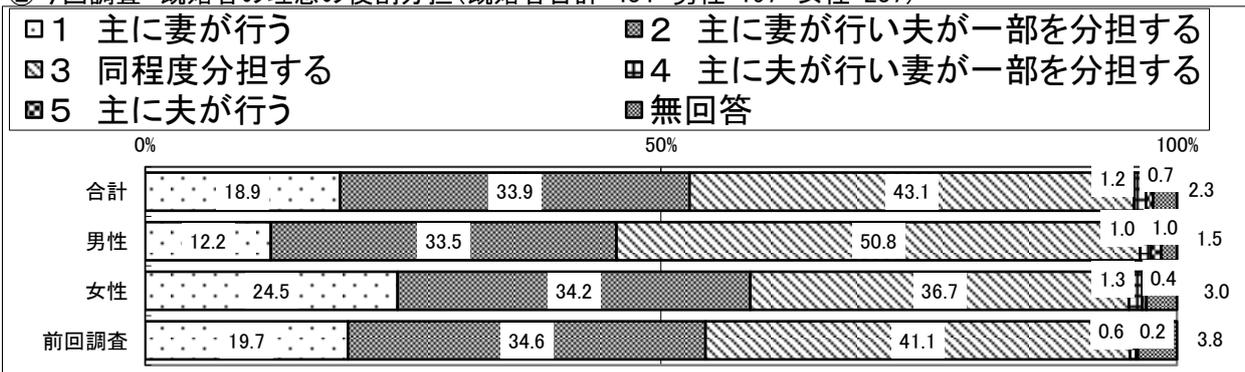
洗濯の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは42.7%であり、前回調査(48.7%)より6.0ポイント減少している。
男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(39.5%)は前回調査(40.4%)より0.9ポイント減少し、女性(45.3%)は前回調査(55.2%)より9.9ポイント減少している。

①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは52.8%であり、回答者全体(42.7%)と比較すると10.1ポイント高い。

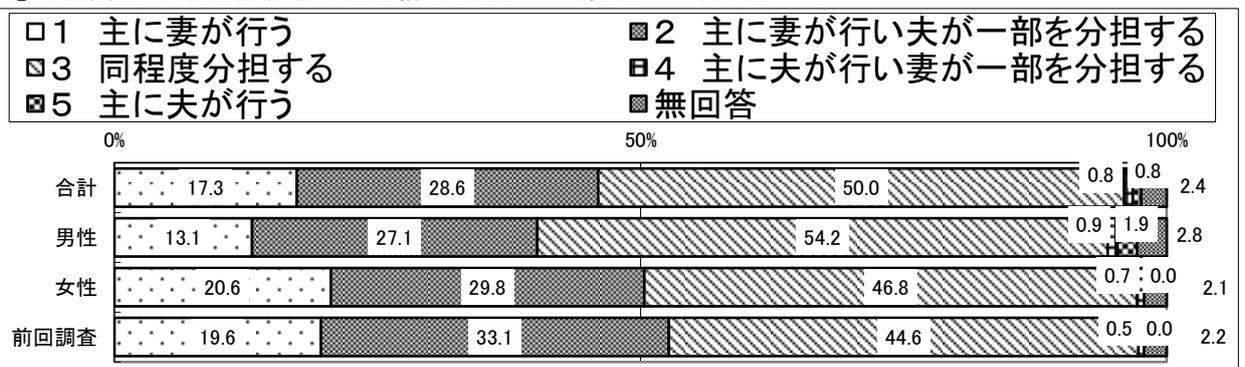
②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



※グラフから一部のデータを省略した。データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

共働きの回答者に着目すると、洗濯を主に誰が分担するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは45.9%であり、回答者全体(42.7%)より3.2ポイント高い。
前回調査(52.7%)と比較すると、6.8ポイント減少している。
男女別にみると、男性(40.2%)は前回調査(49.3%)より9.1ポイント減少、女性(50.4%)は前回調査(54.7%)より4.3ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

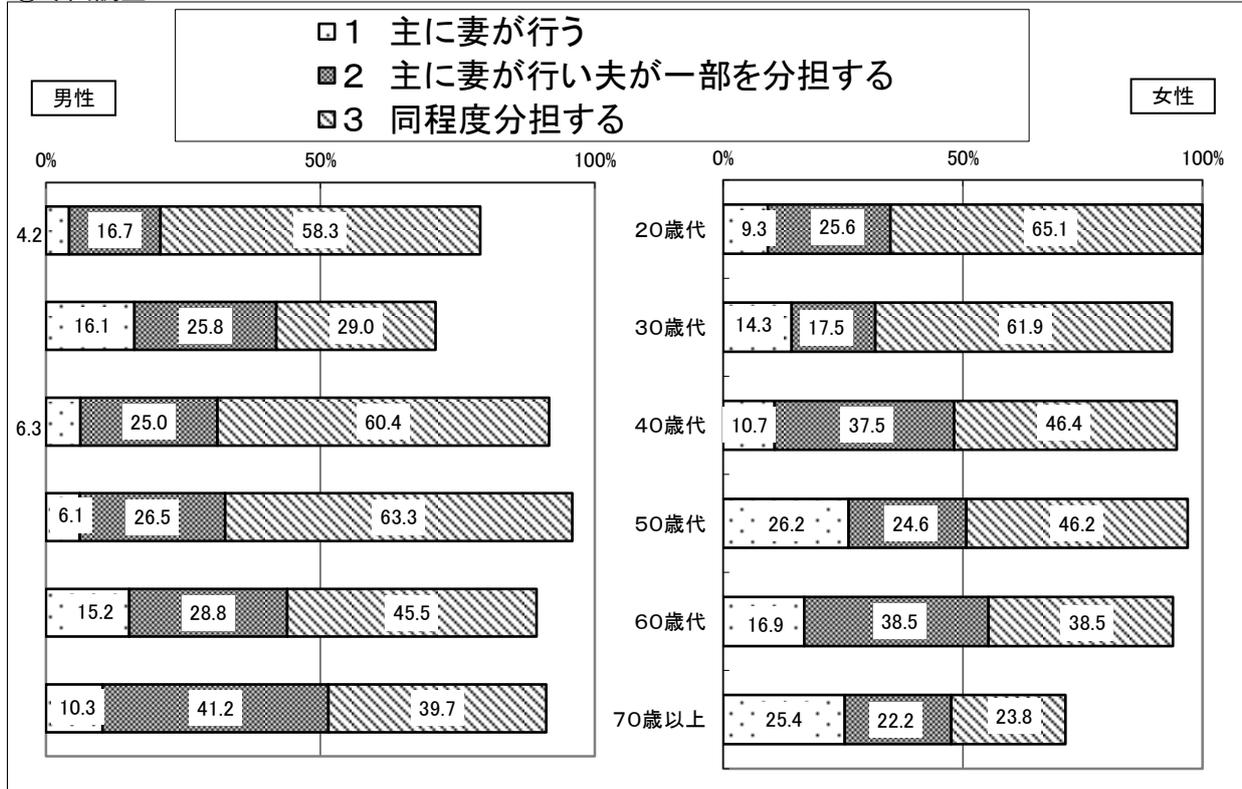
【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男性では「70歳以上」(51.5%)であり、女性では「60歳代」(55.4%)である。

「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「50歳代」であり、男性(32.6%)と女性(50.8%)では、女性が18.2ポイント高い。

④今回調査

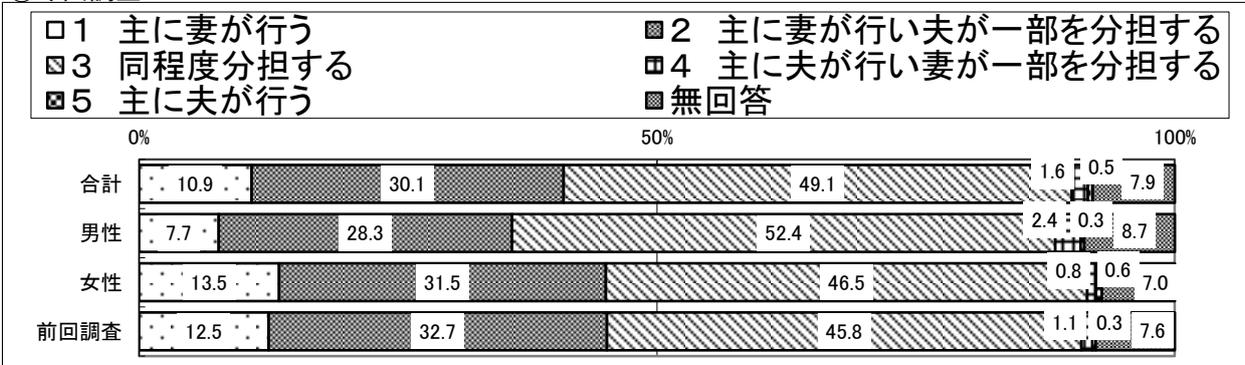


※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(3)理想の役割分担 日常の買い物

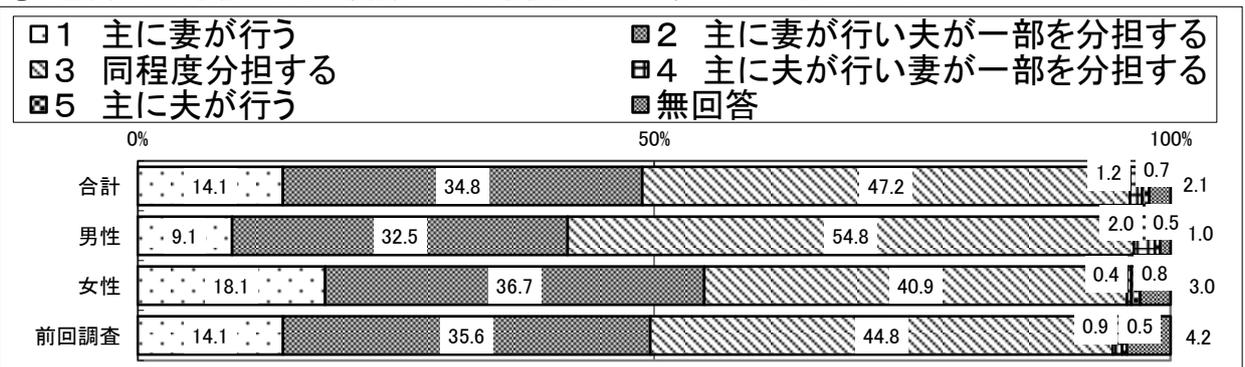
日常の買い物の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは41.0%であり、前回調査(45.2%)より4.2ポイント減少している。
男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(36.0%)は前回調査(38.7%)より2.7ポイント減少し、女性(45.0%)は前回調査(50.3%)より5.3ポイント減少している。

①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは48.9%であり、回答者全体(41.0%)と比較すると7.9ポイント高い。

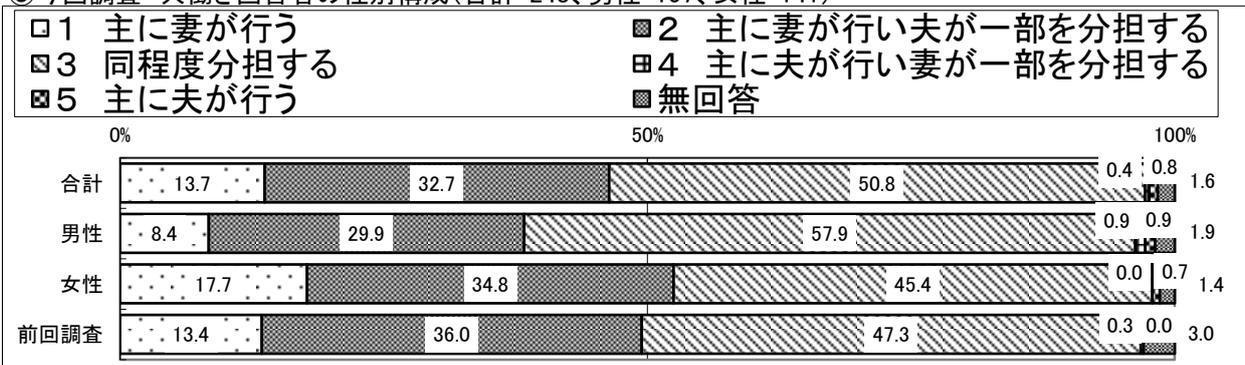
②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



※グラフから一部のデータを省略した。データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

共働きの回答者に着目すると、日常の買い物を主に誰が分担するか理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは46.4%であり、回答者全体(41.0%)より5.4ポイント高い。
前回調査(49.4%)と比較すると、3.0ポイント減少している。
男女別にみると、男性(38.3%)は前回調査(42.2%)より3.9ポイント減少、女性(52.5%)は前回調査(53.9%)より1.4ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

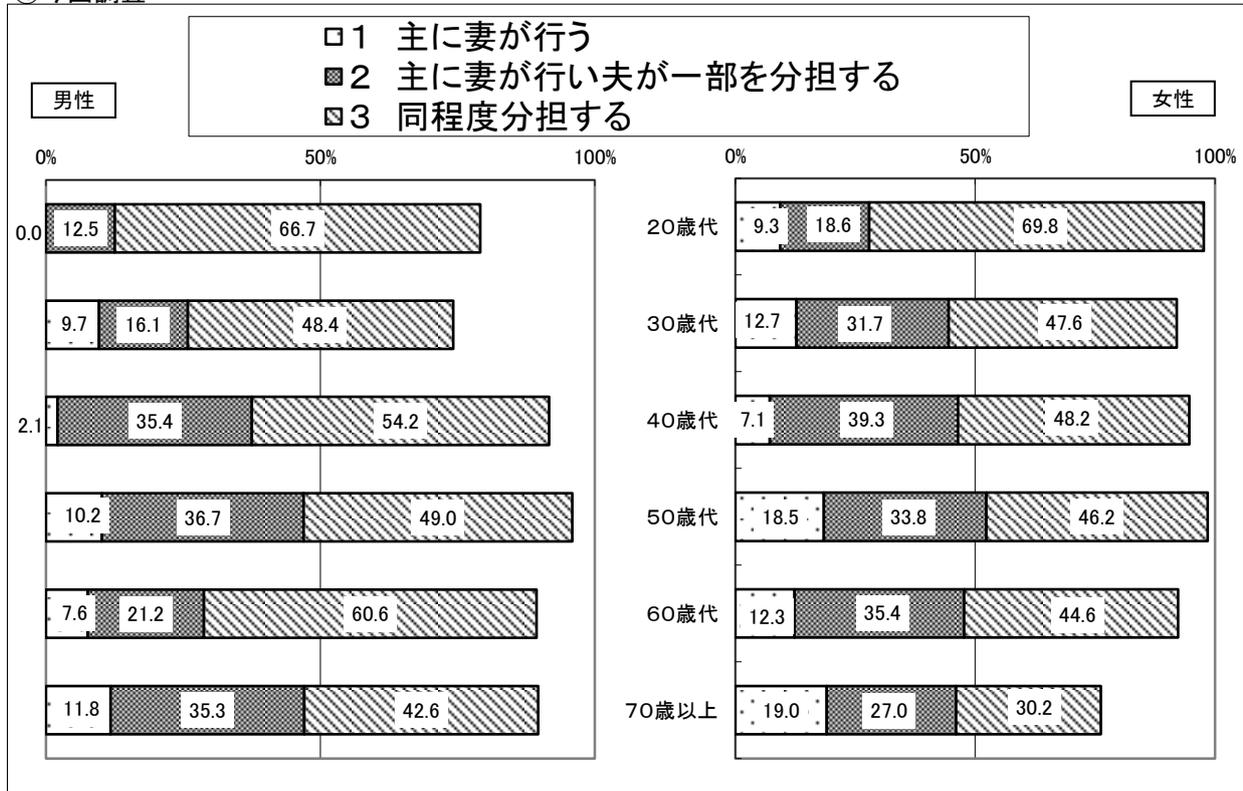
N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は、男性では「70歳以上」(47.1%)であり、女性では「50歳代」(52.3%)である。「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「60歳代」であり、男性(28.8%)と女性(47.7%)では、女性が18.9ポイント高い。

④今回調査



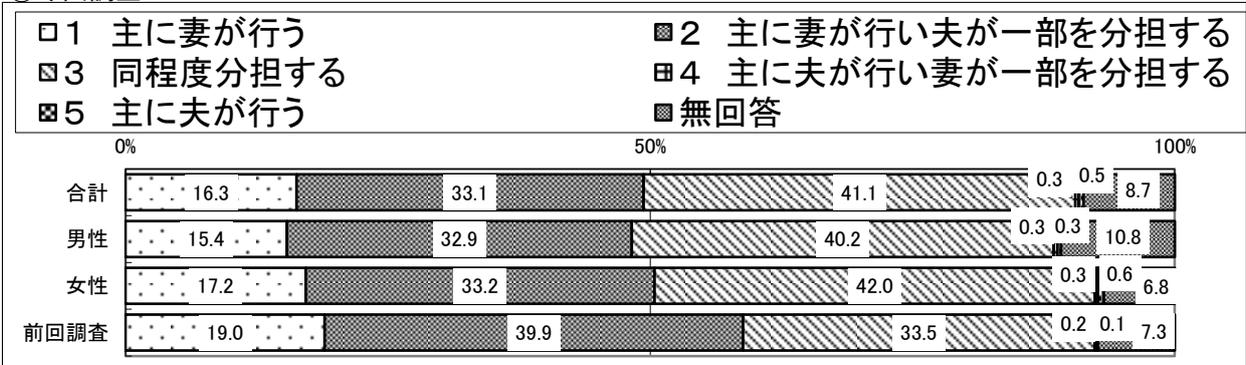
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(4)理想の役割分担 食事のしたく

食事のしたくの役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは49.4%であり、前回調査(58.9%)より9.5ポイント減少している。

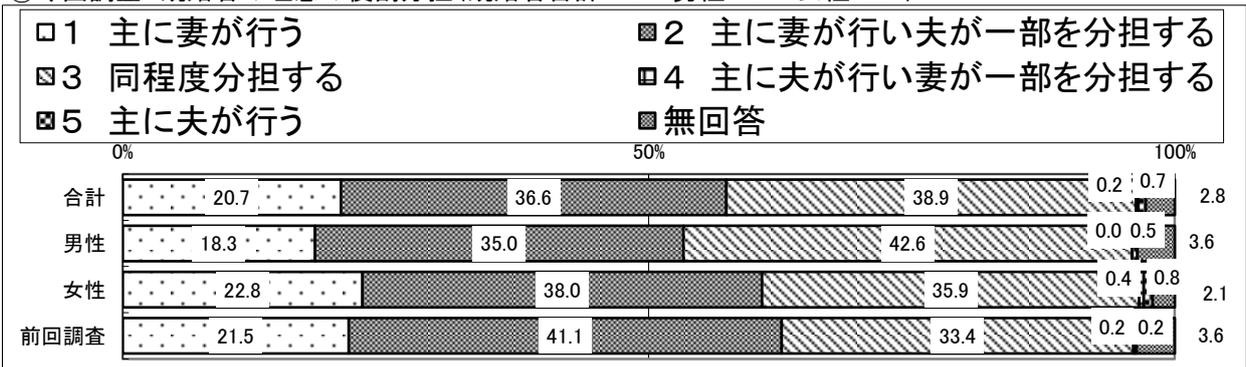
男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(48.3%)は前回調査(55.8%)より7.5ポイント減少し、女性(50.4%)は前回調査(61.3%)より10.9ポイント減少している。

①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは57.3%であり、回答者全体(49.4%)と比較すると7.9ポイント高い。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)

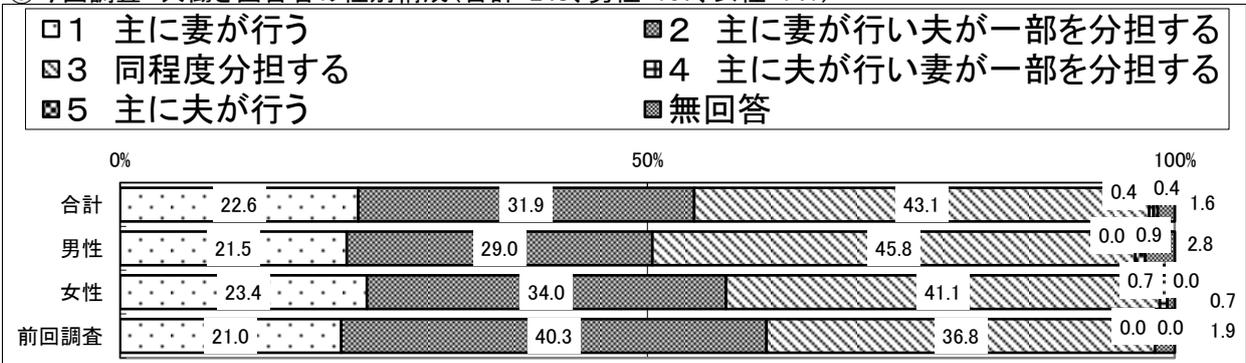


共働きの回答者に着目すると、食事のしたくを主に誰が分担するか理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは54.5%であり、回答者全体(49.4%)より5.1ポイント高い。

前回調査(61.3%)と比較すると、6.8ポイント減少している。

男女別にみると、男性(50.5%)は前回調査(60.6%)より10.1ポイント減少、女性(57.4%)は前回調査(61.8%)より4.4ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

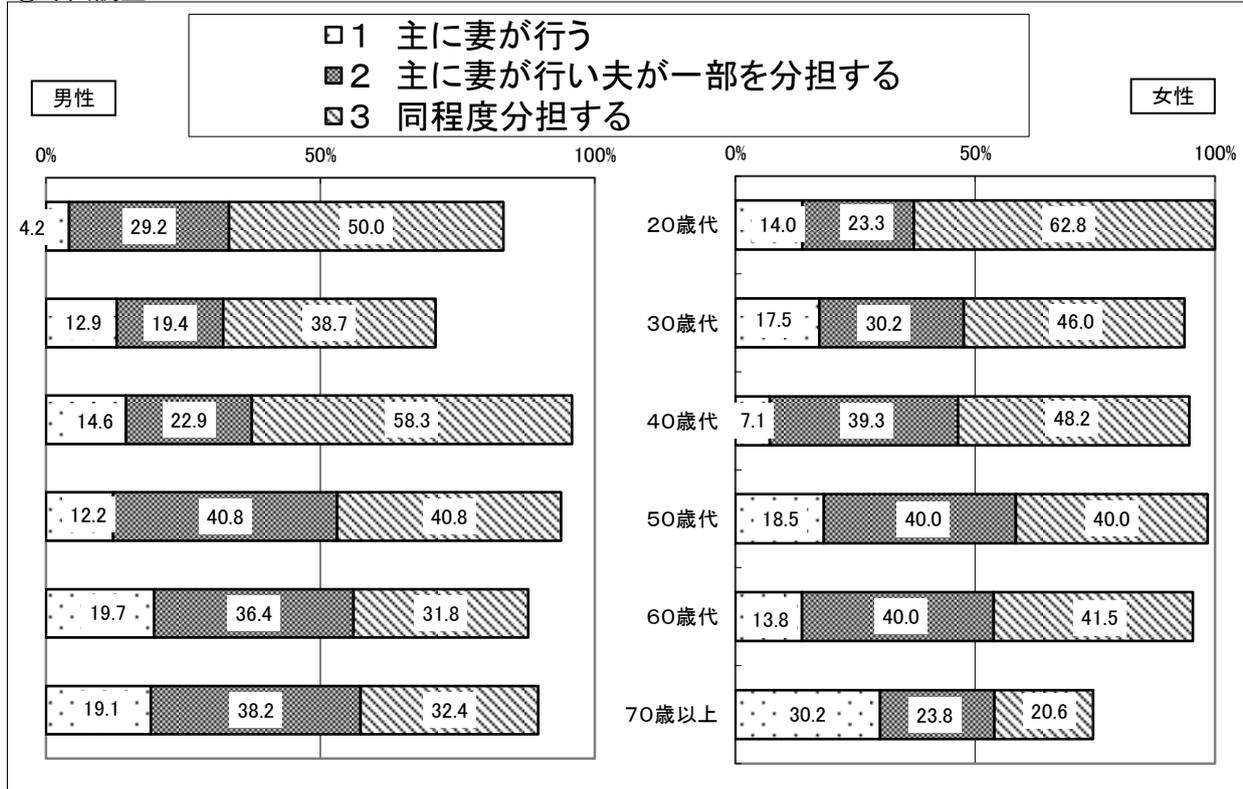
【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男性では「70歳以上」(57.3%)であり、女性では「50歳代」(58.5%)である。

「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「30歳代」であり、男性(32.3%)と女性(47.7%)では、女性が15.4ポイント高い。

④今回調査

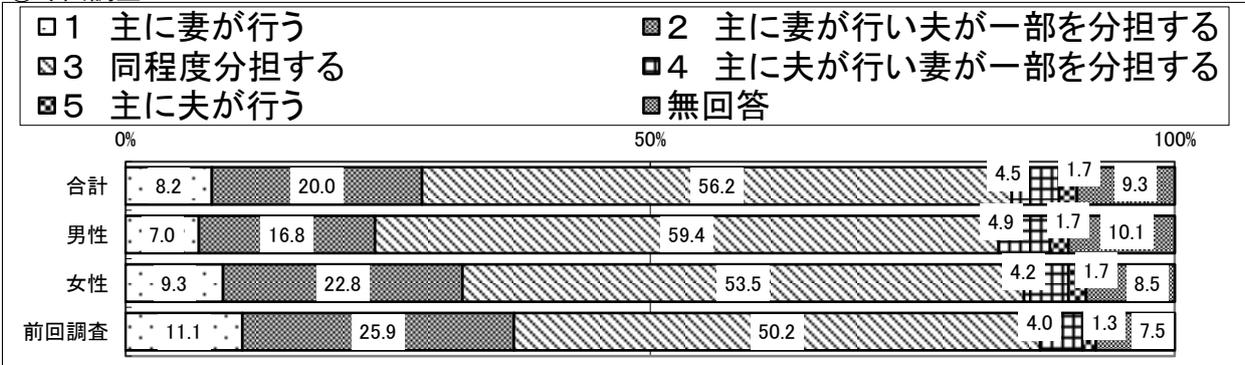


※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(5)理想の役割分担 食事の後片付け

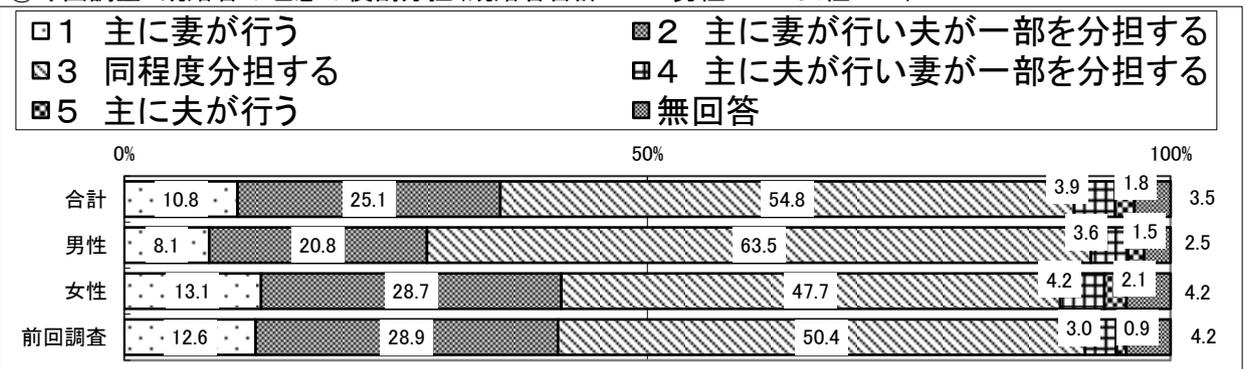
食事の後片付けの役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは28.2%であり、前回調査(37.0%)より8.8ポイント減少している。
男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(23.8%)は前回調査(30.8%)より7.0ポイント減少し、女性(32.1%)は前回調査(41.9%)より9.8ポイント減少している。

①今回調査



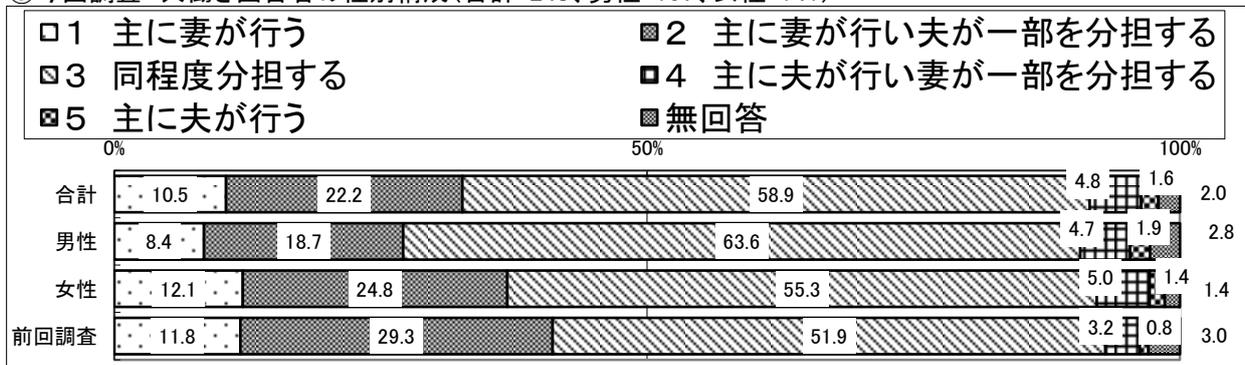
既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは35.9%であり、回答者全体(28.2%)と比較すると7.7ポイント高い。「同程度分担する」は回答者全体(56.2%)と既婚者(54.8%)ともに過半数を超えている。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



共働きの回答者に着目すると、食事の後片付けを主に誰が分担するか理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは32.7%であり、回答者全体(28.2%)より4.5ポイント高い。前回調査(41.1%)と比較すると、8.4ポイント減少している。
男女別にみると、男性(27.1%)は前回調査(35.3%)より8.2ポイント減少、女性(36.9%)は前回調査(44.7%)より7.8ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

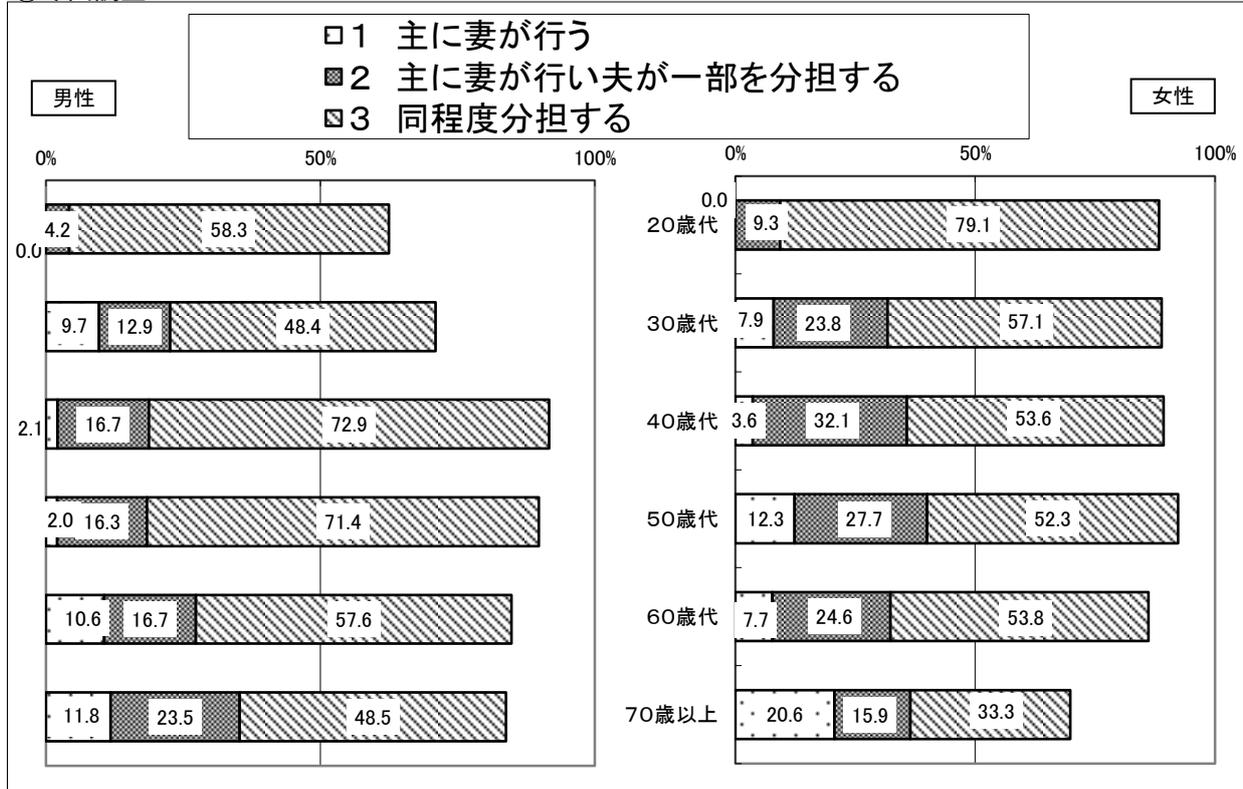
【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男性では「70歳以上」(35.3%)であり、女性では「50歳代」(40.0%)である。

「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「50歳代」であり、男性(18.3%)と女性(40.0%)では、女性の方が21.7ポイント高い。

「同程度分担する」と回答した女性は、「70歳以上」を除き全ての年代で5割を超えている。

④今回調査



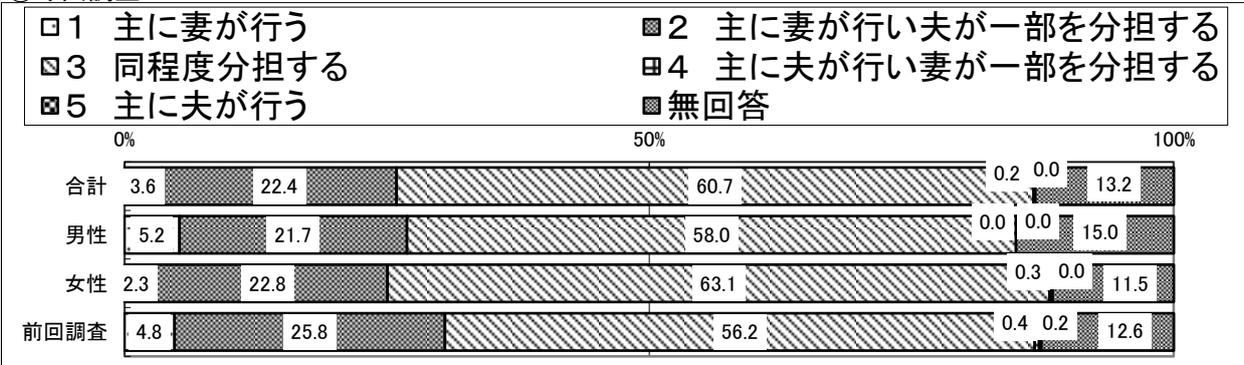
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(6)理想の役割分担 育児

育児の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは26.0%であり、前回調査(30.6%)より4.6ポイント減少している。

男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(26.9%)は前回調査(30.0%)より3.1ポイント減少し、女性(25.1%)は前回調査(30.9%)より5.8ポイント減少している。

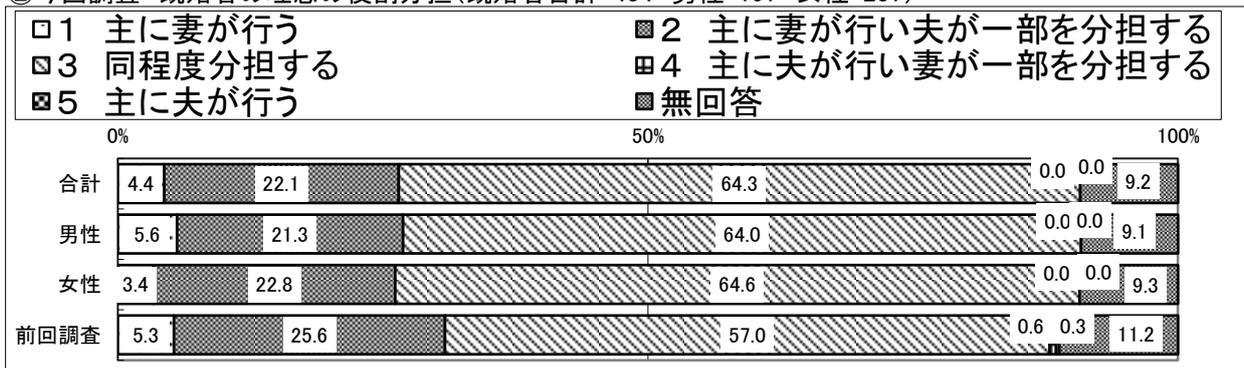
①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは26.5%であり、回答者全体(26.0%)と比較すると0.5ポイント高い。

「同程度分担する」は回答者全体(60.7%)においても、既婚者(64.3%)においても6割を超えている。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



※グラフから一部のデータを省略した。データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

共働きの回答者に着目すると、育児を主に誰が分担するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは23.4%であり、回答者全体(26.0%)より2.6ポイント低い。

前回調査(29.3%)と比較すると、5.9ポイント減少している。

男女別にみると、男性(19.6%)は前回調査(31.7%)より12.1ポイント減少、女性(26.2%)は前回調査(27.8%)より1.6ポイント減少している。

「同程度分担する」と回答したものは69.8%であり、回答者全体(60.7%)より9.1ポイント高く、既婚者回答者(64.3%)より5.5ポイント高い。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

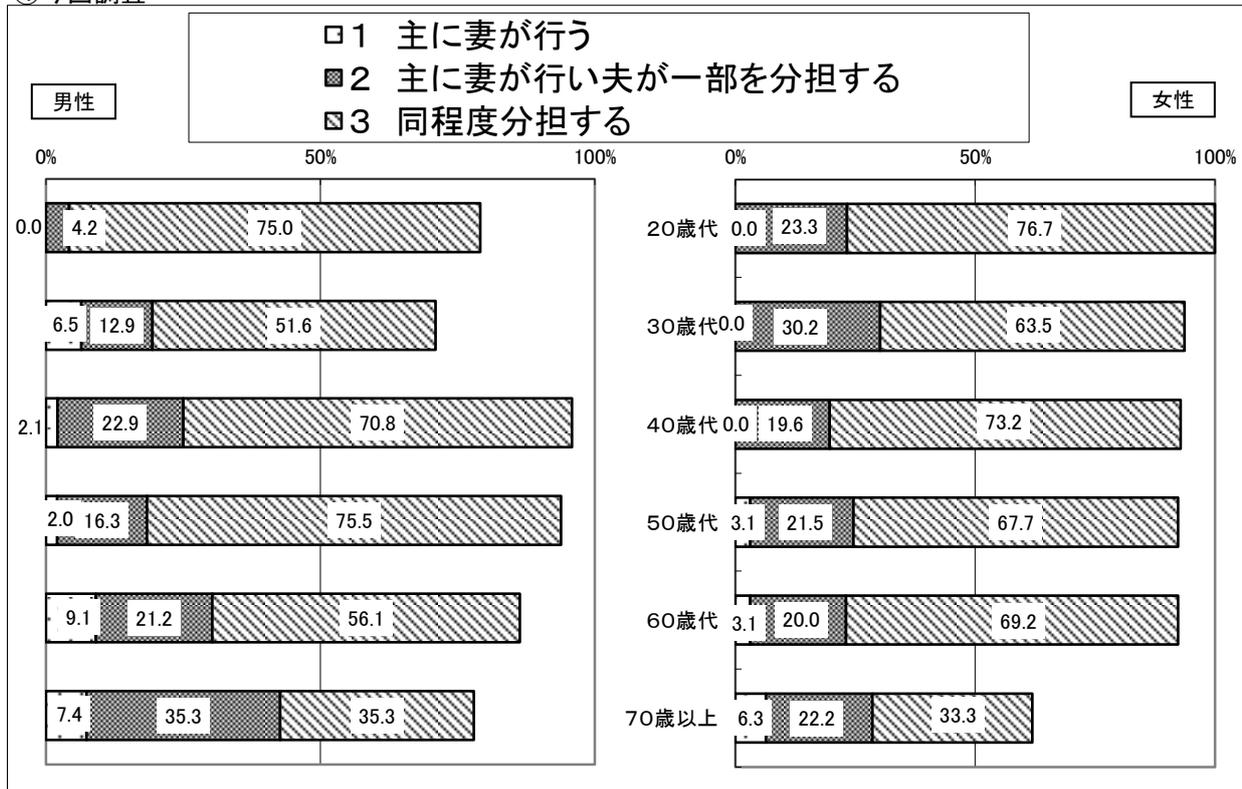
【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男性では「70歳以上」(42.7%)であり、女性では「30歳代」(30.2%)である。

「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したもので、男女差が最も大きい年代は「20歳代」であり、男性(4.2%)と女性(23.3%)では、女性が19.1ポイント高い。

男女共に「同程度分担する」と回答したものが7割を超えたのは男性では「20歳代」(75.0%)、「40歳代」(70.8%)、「50歳代」(75.5%)、女性では「20歳代」(76.7%)、「40歳代」(73.2%)であった。

④今回調査

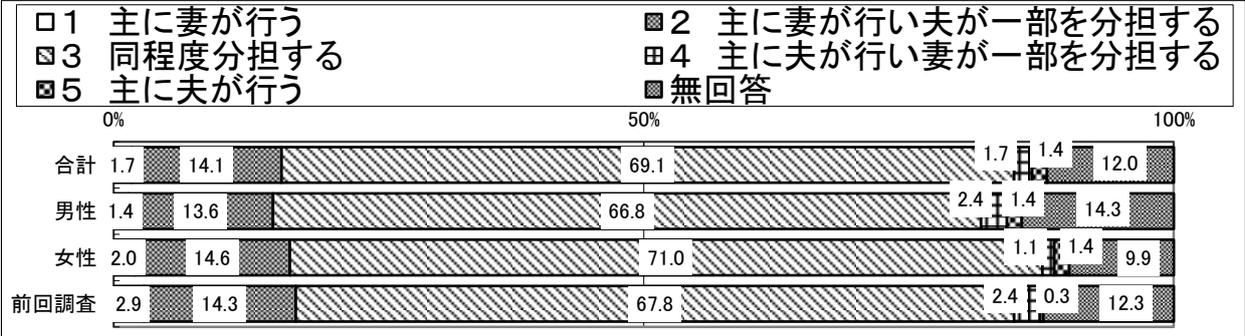


※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問8(7)理想の役割分担 介護・看護

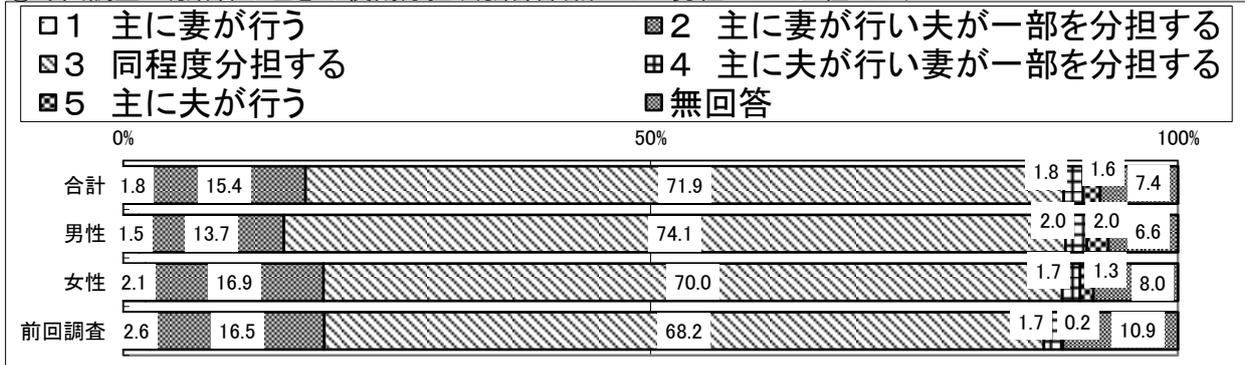
介護・看護の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは15.8%であり、前回調査(17.2%)より1.4ポイント減少している。
 男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答した男性(15.0%)は前回調査(16.1%)より1.1ポイント減少し、女性(16.6%)は前回調査(18.0%)より1.4ポイント減少している。
 「同程度分担する」と回答したものは69.1%であり、前回調査(67.8%)より1.3ポイント増加している。

①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは17.2%であり、回答者全体(15.8%)と比較すると1.4ポイント高い。
 「同程度分担する」と回答したものは71.9%であり、前回調査(68.2%)より3.7ポイント増加している。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



共働きの回答者に着目すると、介護・看護を主に誰が分担するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは16.9%であり、回答者全体(15.8%)より1.1ポイント高い。
 前回調査(19.1%)と比較すると、2.2ポイント減少している。
 男女別にみると、男性(12.2%)は前回調査(17.6%)より5.4ポイント減少、女性(20.5%)は前回調査(20.0%)より0.5ポイント増加している。
 「同程度分担する」と回答したものは75.0%であり、前回調査(71.8%)より3.2ポイント増加しており、男女共に7割を超えている。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

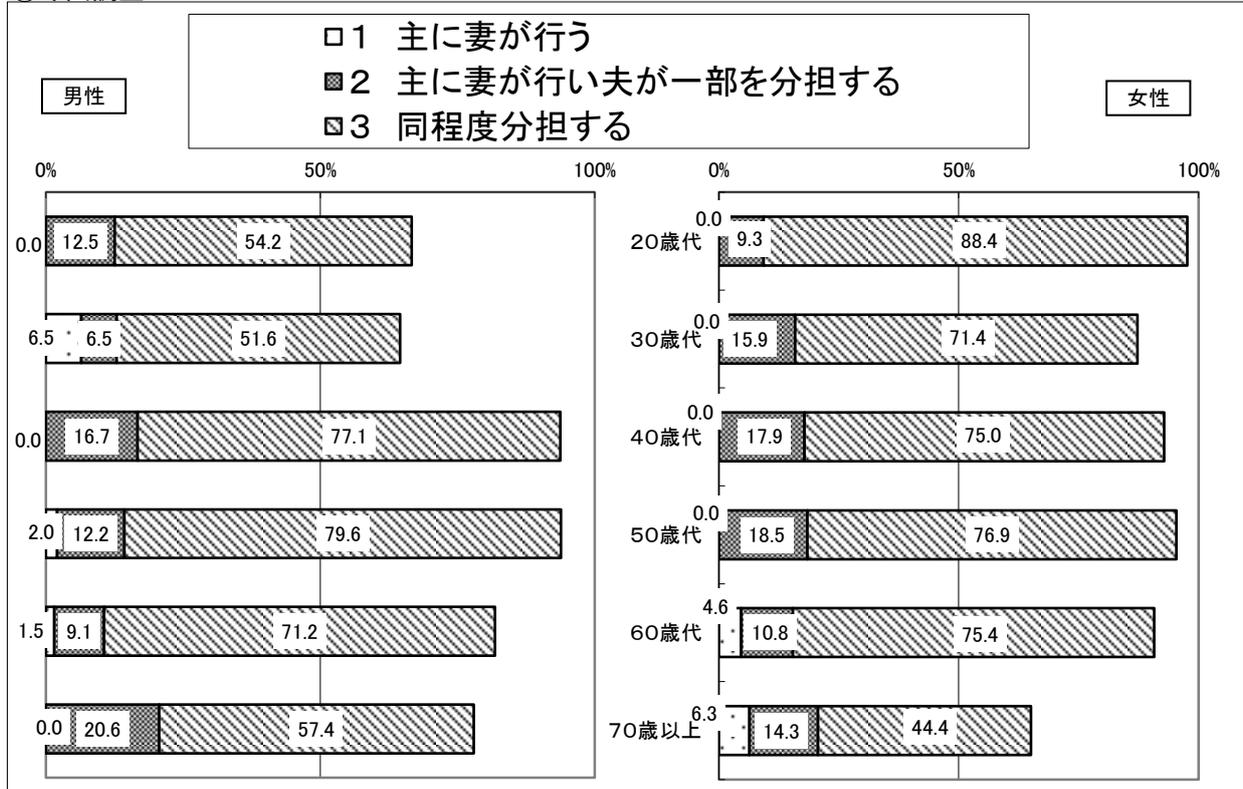
N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男女共に「70歳以上」であり、男性20.6%、女性20.6%である。
 「同程度分担する」と回答したものの割合が最も高い年代は、男性「50歳代」(79.6%)、女性「20歳代」(88.4%)であった。

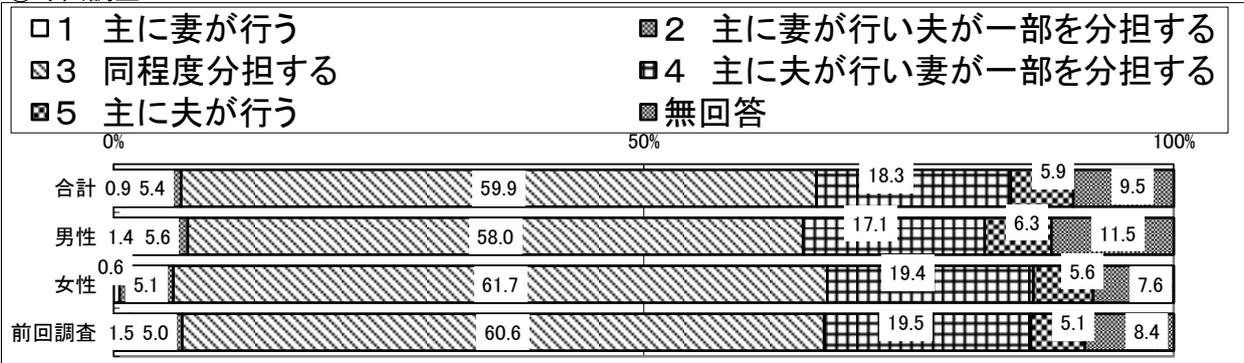
④今回調査



問8(8)理想の役割分担 地域の行事に参加

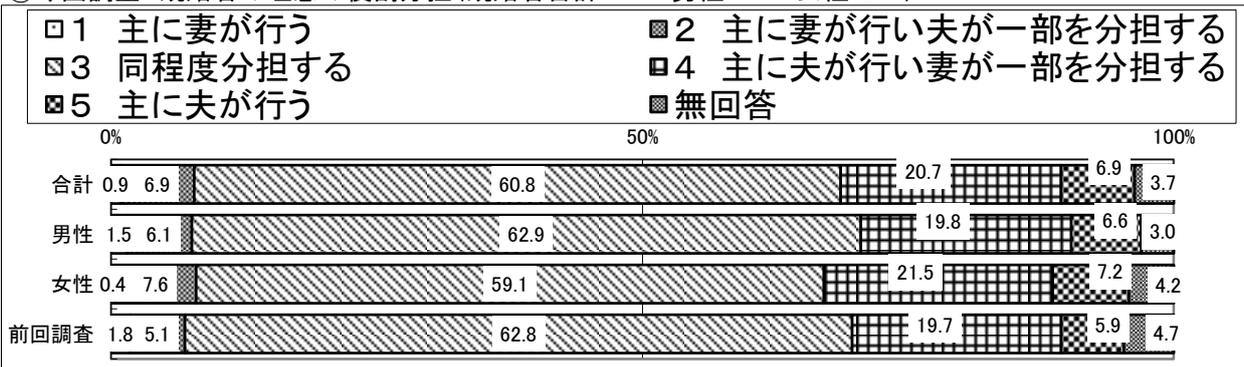
地域の行事に参加の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは6.3%であり、前回調査(6.5%)より0.2ポイント微減している。
「同程度分担する」と回答したものは59.9%であり、前回調査(60.6%)より0.7ポイント減少している。

①今回調査



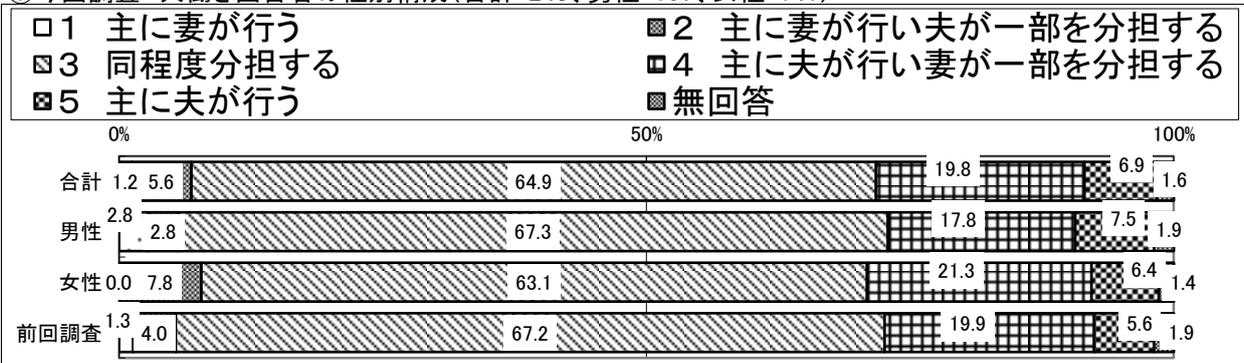
既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは7.8%であり、回答者全体(6.3%)と比較すると1.5ポイント高い。
「同程度分担する」と回答したものは60.8%であり、前回調査(62.8%)より2.0ポイント減少している。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)



共働きの回答者に着目すると、地域の行事に参加を主に誰が分担するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは6.8%であり、前回調査(5.3%)と比較すると、1.5ポイント増加している。
「同程度分担する」と回答したものは64.9%であり、回答者全体(59.9%)より5ポイント高く、既婚者回答者(60.8%)より4.1ポイント高い。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

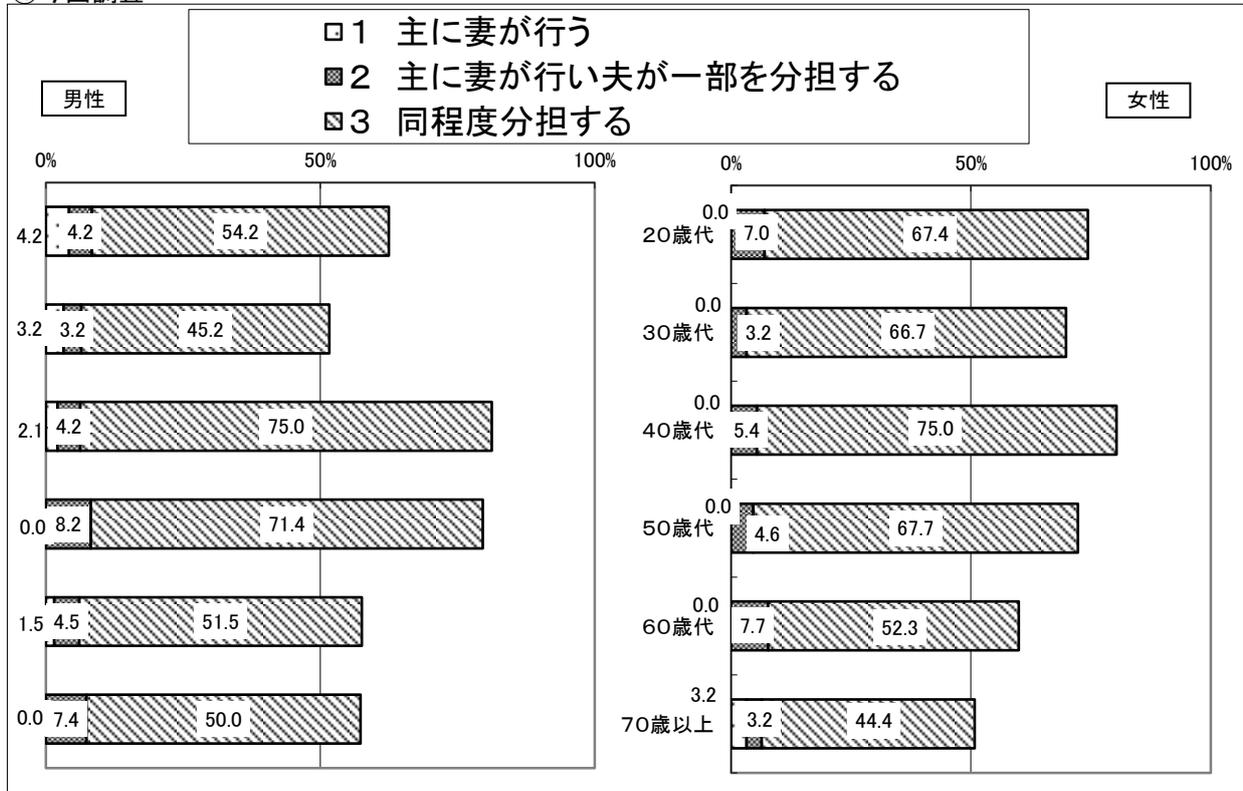
N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものの割合が最も高い年代は男性では「20歳代」(8.4%)であり、女性では「60歳代」(7.7%)である。
「同程度分担する」と回答したものの割合が最も高い年代は、男女共に「40歳代」であり、男性(75.0%)、女性(75.0%)である。

④ 今回調査

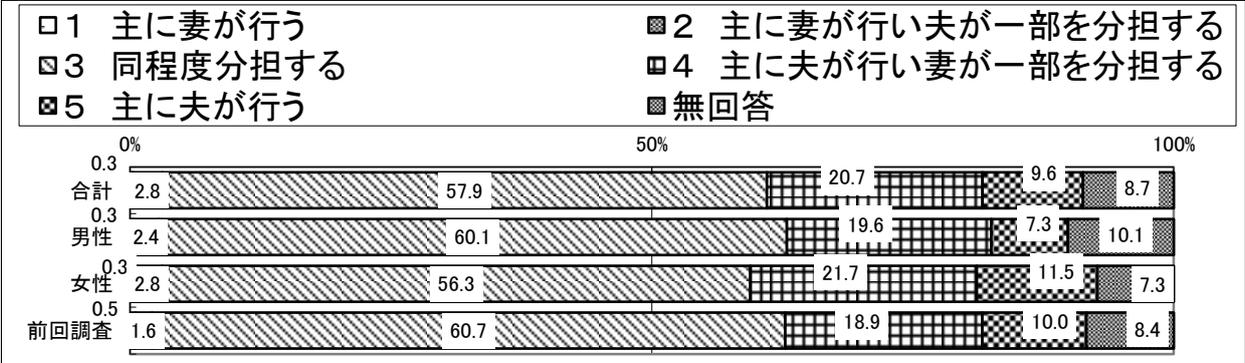


問8(9)理想の役割分担 高額商品や土地・家屋の購入の決定

高額商品や土地・家屋の購入の決定の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは3.1%であり、前回調査(2.1%)より1ポイント増加している。「同程度分担する」と回答したものは57.9%であり、前回調査(60.7%)より2.8ポイント減少している。

男女別に見ると、「同程度分担する」と回答した男性(60.1%)は前回調査(64.7%)より4.6ポイント減少し、女性(56.3%)は前回調査(57.5%)より1.2ポイント減少している。

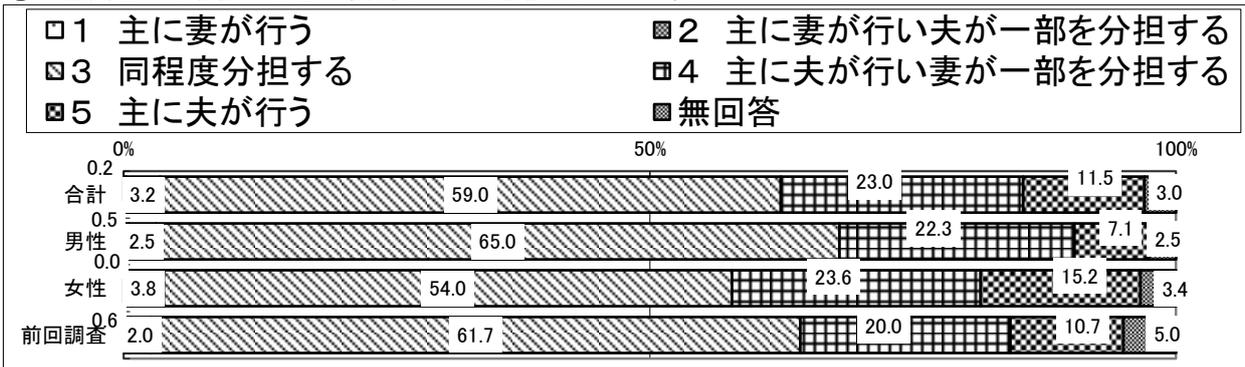
①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは3.4%であり、前回調査(2.6%)と比較すると0.8ポイント増加している。

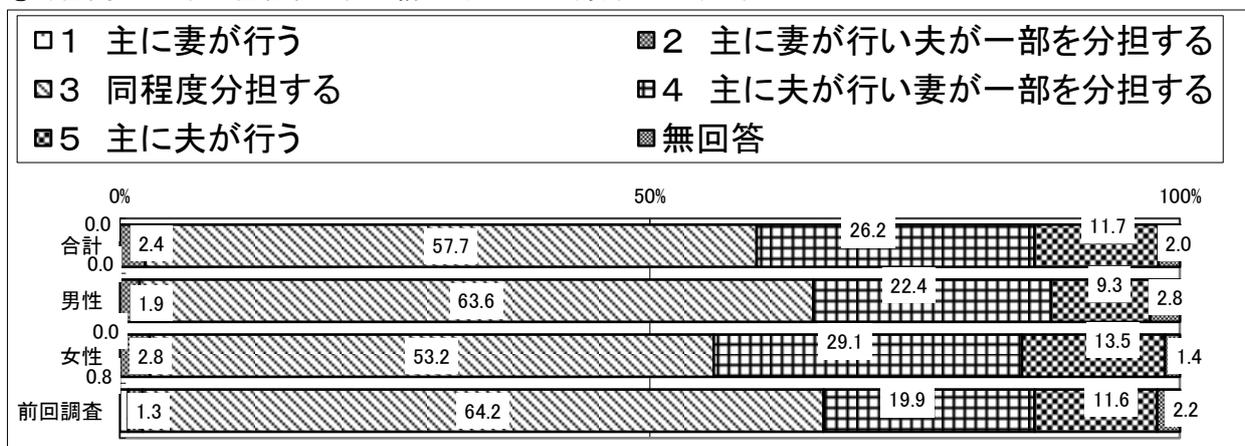
「同程度分担する」と回答した既婚者は59.0%であり、回答者全体(57.9%)より1.1ポイント高い。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=435 男性=197 女性=237)



共働きの回答者に着目すると、高額商品や土地・家屋の購入をを主に誰が分担するかの理想は、「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは2.4%であり、回答者全体(3.1%)より0.7ポイント低い。「同程度分担する」と回答したものは57.7%であり、前回調査(64.2%)より6.5ポイント減少している。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

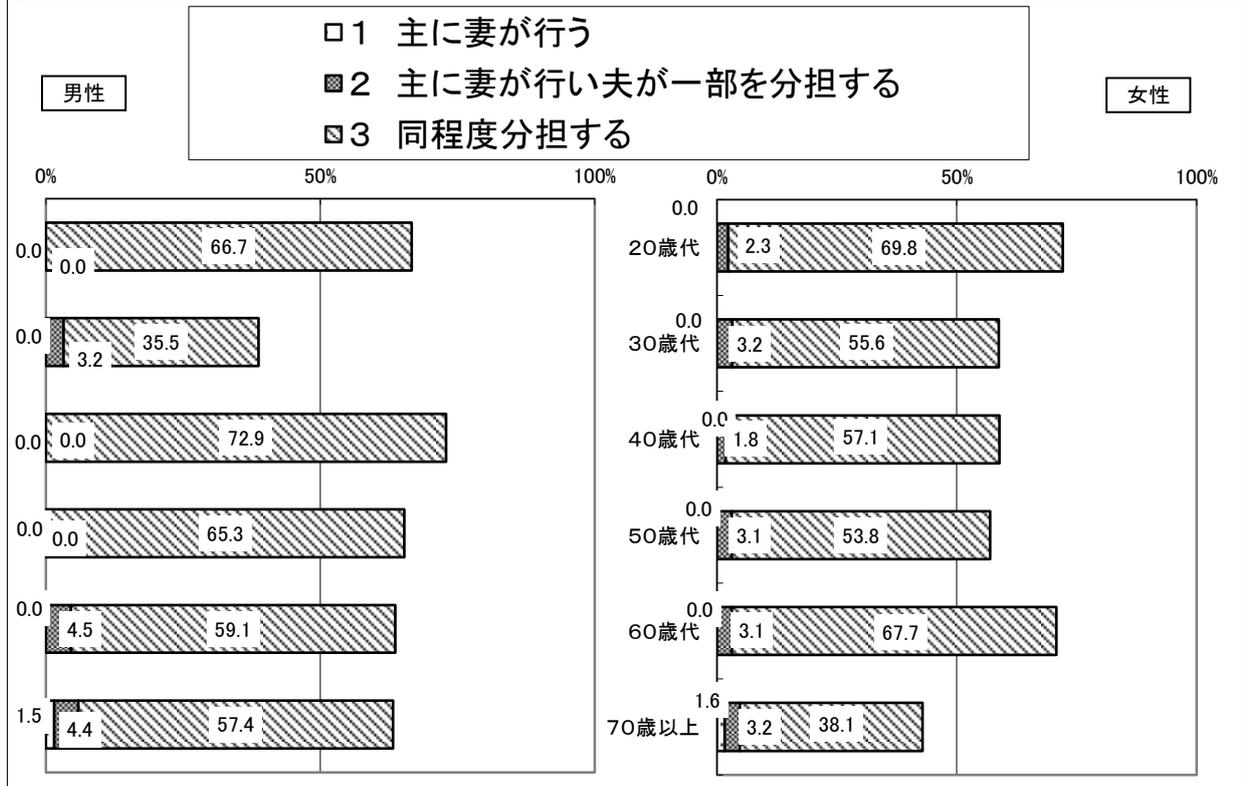
【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、男女共に「70歳以上」以外の全ての年代で「主に妻が行う」と回答したものはいなかった。

「同程度分担する」と回答したものは、男性では「30歳以上」以外の全ての年代で、女性では「70歳以上」以外の全ての年代で5割を超えている。

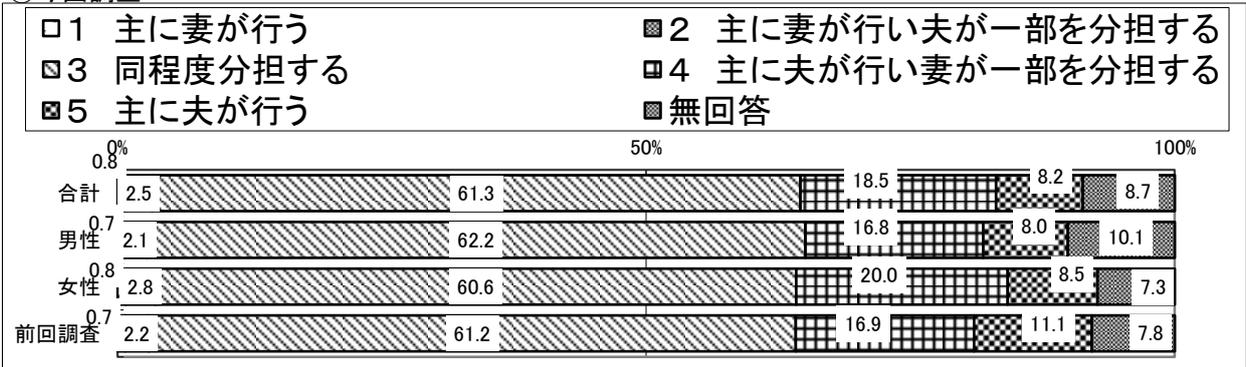
④今回調査



問8(10)理想の役割分担 家庭問題の最終決定

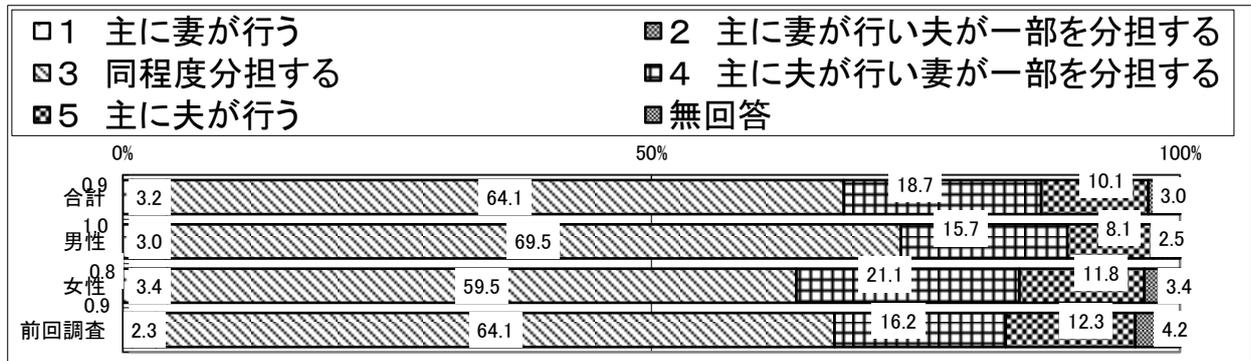
家庭問題の最終決定の役割分担の理想については「主に妻が行う(夫が一部負担含む)」と回答したものは3.3%、「同程度分担する」と回答したものは61.3%と、前回調査(2.9%、61.2%)と比較して大きな変化はない。

①今回調査



既婚者の回答に着目すると、既婚者の理想は、「同程度分担する」と回答したものは64.1%であり、回答者全体(61.3%)と比較すると2.8ポイント高い。

②今回調査 既婚者の理想の役割分担(既婚者合計=434 男性=197 女性=237)

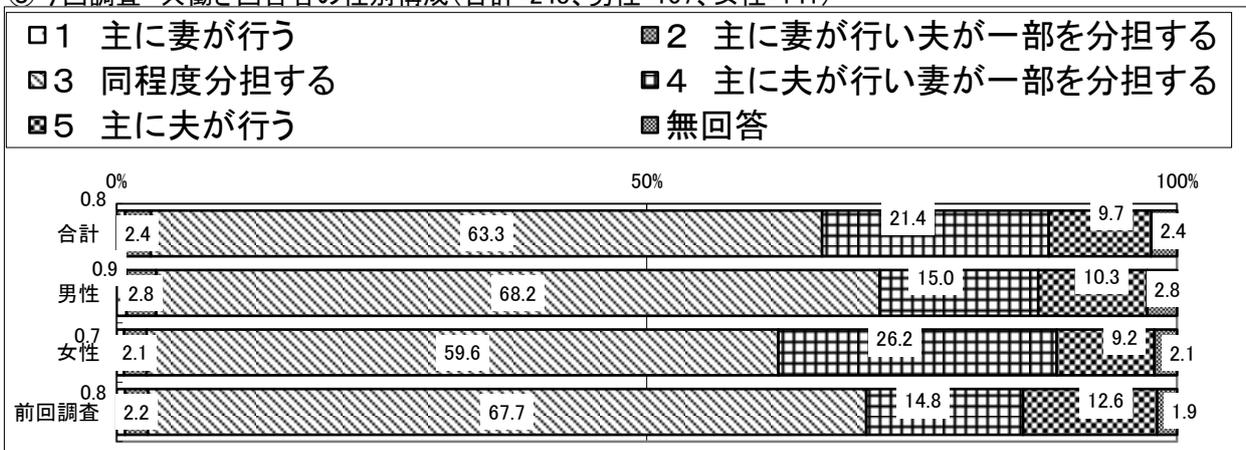


共働きの回答者に着目すると、家庭問題の最終決定を主に誰が分担するかの理想は、「同程度分担する」と回答したものは63.3%であり、回答者全体(61.3%)より2ポイント高く、既婚者(64.1%)より0.8ポイント低い。

「同程度分担する」と回答した男性は68.2%、女性は59.6%であり、8.6ポイントと大きく差があらわれている。

女性で「主に夫が行う(妻が一部負担含む)」と回答したものは35.4%であり、男性(25.3%)より10.1ポイント高い。

③今回調査 共働き回答者の性別構成(合計=248、男性=107、女性=141)



※「共働き」とは、「Ⅲ 回答者の基本属性」において、①既婚であり、②回答者自身の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、③配偶者の職業が「無職(職業選択肢(7)、(8)、(9)、無回答)」以外、④性別・年代の記載がある、以上すべての条件を満たすもの

N=641

【男性】 20歳代=24 30歳代=31 40歳代=48 50歳代=49 60歳代=66 70歳以上=68

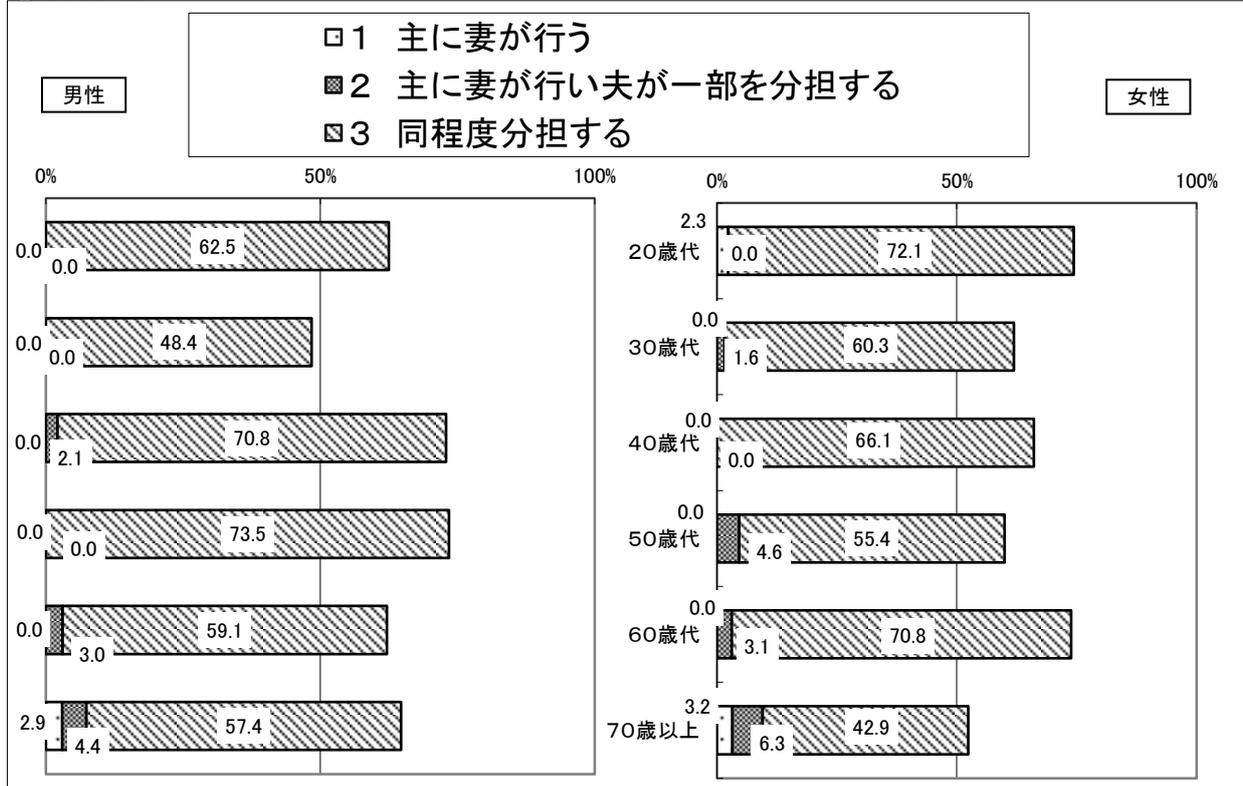
【女性】 20歳代=43 30歳代=63 40歳代=56 50歳代=65 60歳代=65 70歳以上=63

年代別・男女別にみると、男性は「30歳代」以外全ての年代で、女性は「70歳以上」以外全ての年代で「同程度分担する」と回答したものは5割を超えている。

回答したものの割合が最も高いのは、男性は「50歳代」(73.5%)、女性は(20歳代)(72.1%)である。

男性は「70歳以上」以外全ての年代で、女性は「20歳代」「70歳以上」以外の年代で「主に妻が行う」と回答したものはなかった。

④今回調査



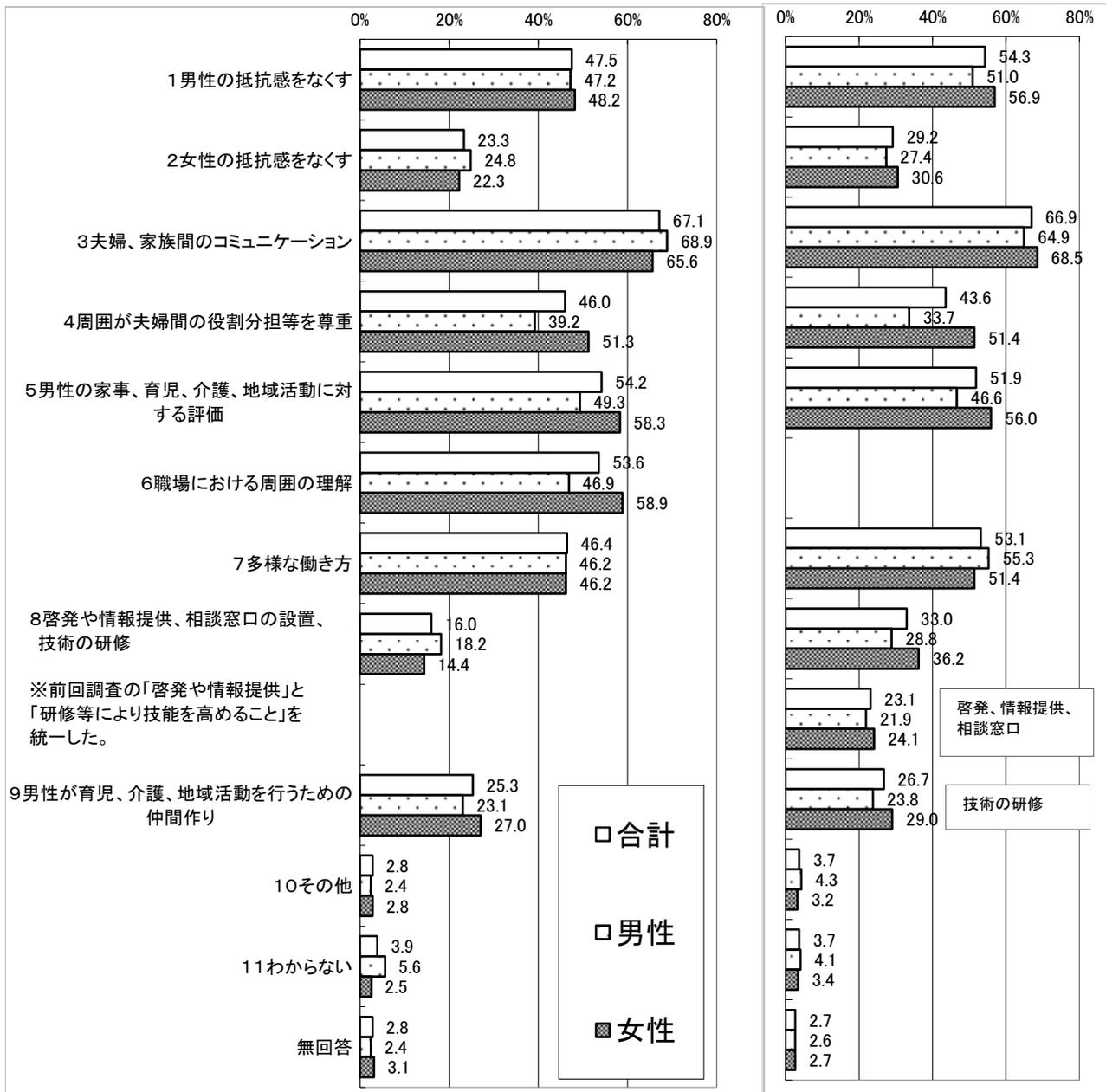
問9 男女がともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

今回調査より『男女がともに』と文言が改められた。(前回調査『男性が女性とともに』)
また、「職場における上司や周囲の理解を進めること」は新規追加となった項目である。

男女がともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことは、「夫婦、家族間のコミュニケーション」(67.1%)の割合が最も高く、次いで「男性の家事、育児、介護、地域活動に対する評価」(54.2%)、「職場における上司や周囲の理解を進めること」(53.6%)が続く。
男女差が最も大きいのは「周囲が夫婦間の役割分担等を尊重」であり、男性(39.2%)と女性(51.3%)では、女性の方が12.1ポイント高い。

「啓発や情報提供、相談窓口の設置、技術の研修」(16.0%)は前回調査における「啓発や情報提供(33.0%)」と「研修等により技能を高めること(23.1%)」を統一したものである。

①性別構成(今回調査)

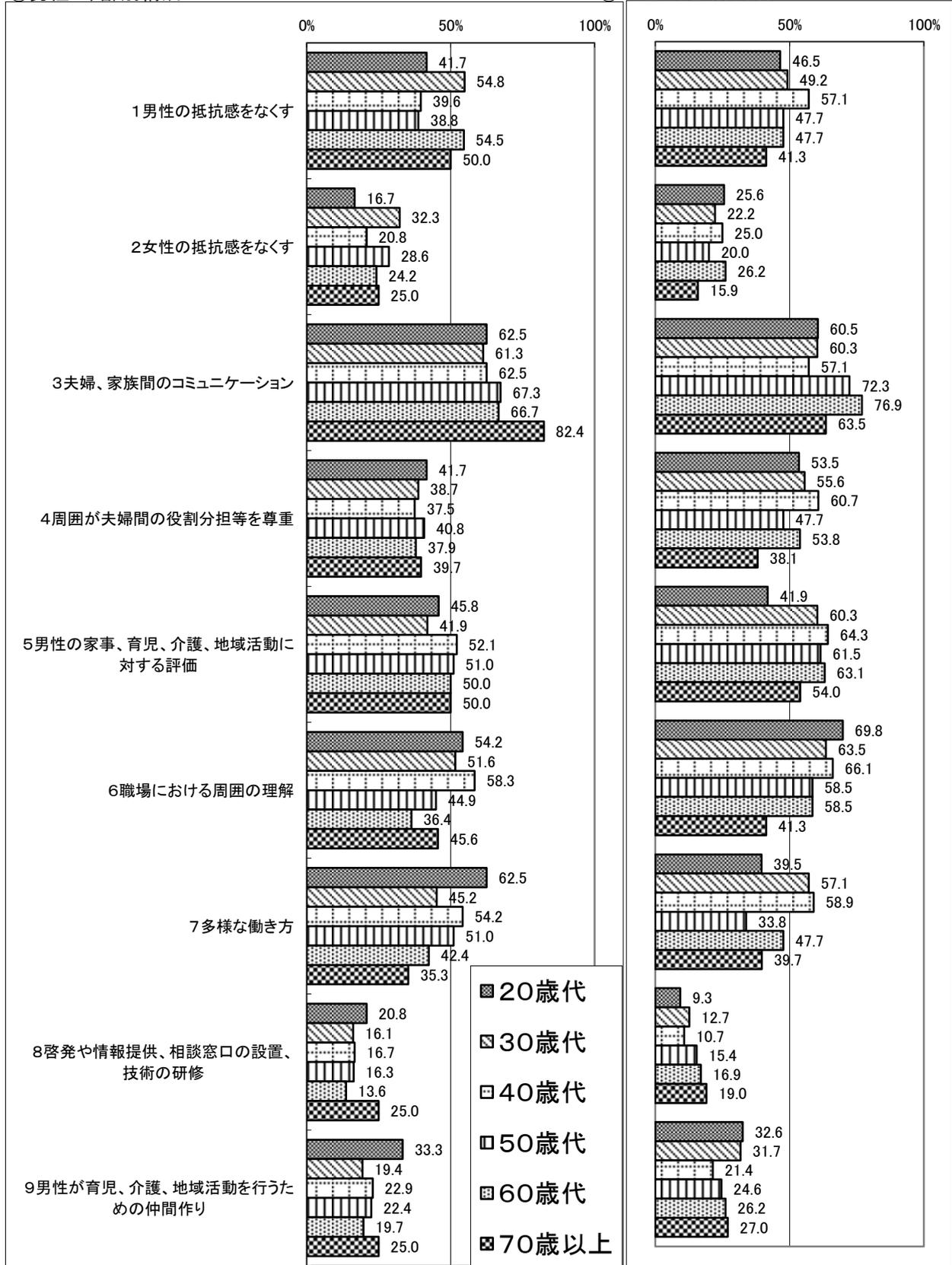


年代別・男女別にみると、男女共にすべての年代で5割を超えたものは「夫婦、家族間のコミュニケーション」であり、「70歳以上男性」(82.4%)においては、前年調査(67.0%)より15.4ポイントと大幅に増加している。

また、女性では「男性の家事、育児、介護、地域活動に対する評価」は、「20歳代」以外全ての年代で5割を超えている。「職場における周囲の理解」についても、「70歳以上」以外全ての年代で5割を超えている。この項目については、男性で最も低い「60歳代」(36.4%)と女性で最も高い「20歳代」(69.8%)では33.4ポイントと大きな差があらわれている。

②男性・年齢別構成

③女性・年齢別構成



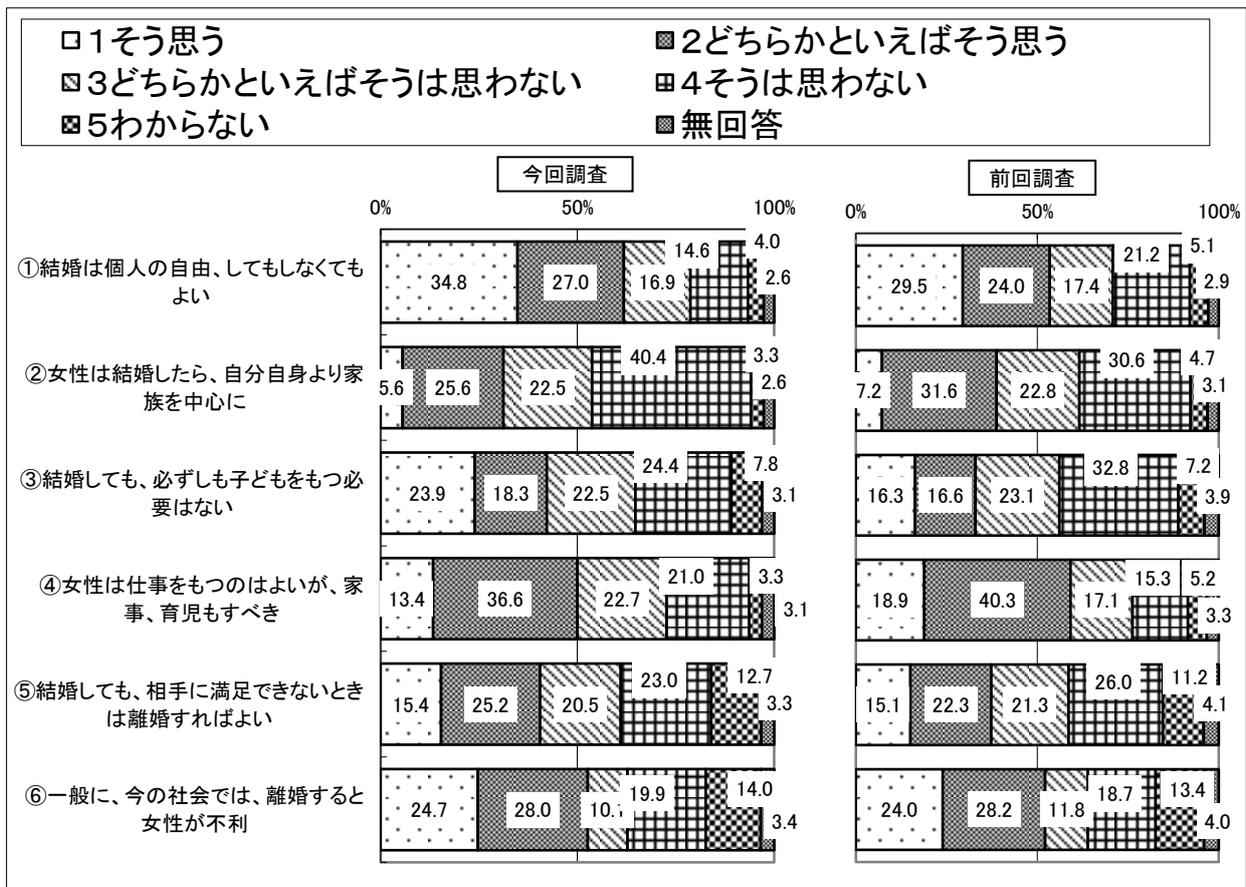
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問10 次のうち、あなたのご意見に近いものはどれでしょうか。次の①～⑥の項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで番号に○をしてください。
(N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

⑥「一般に、今の社会では、離婚すると女性が不利」以外全ての項目で前回調査と比べて大幅に変化がみられた。

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答したものについて、前回調査と比較して最も多く増加したのは「結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない」(42.2%)であり、前回調査(32.9%)より9.3ポイント増加した。次いで大きく増加したのは「結婚は個人の自由、してもしなくてもよい」(61.8%)であり、前回調査(53.5%)より8.3ポイント増加し、6割を超えた。一方、大きく減少したのは「女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もすべき」(50.0%)であり、前回調査(59.2%)より9.2ポイント減少し、また「女性は結婚したら、自分自身より家庭を中心に」(31.2%)は、前回調査(38.8%)より7.6ポイント減少した。「結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよい」(40.6%)は、前回調査(37.4%)より3.2ポイント増加した。

①合計(総数)の経年推移(今回調査= 644、前回調査=943)



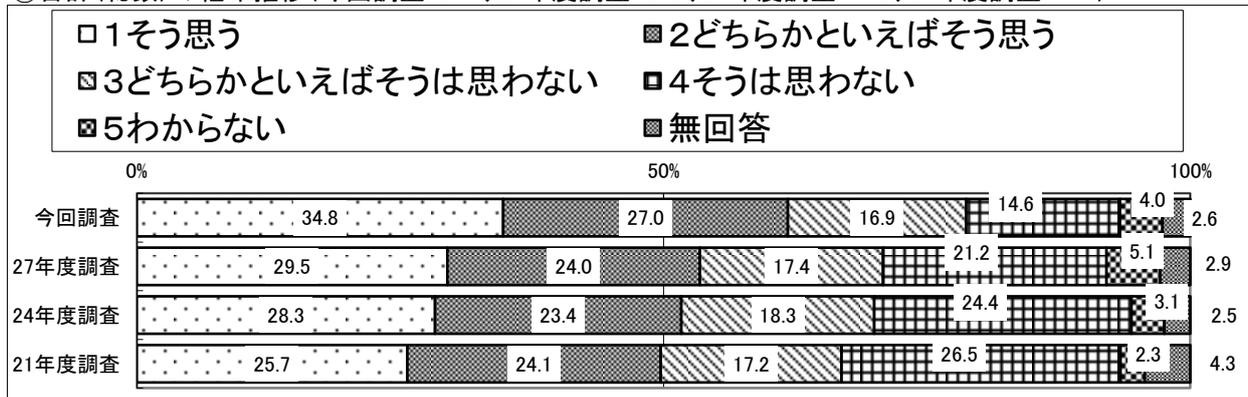
※以下、各テーマごとに行った分析では、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答したものを『そう思う』、「どちらかといえばそう思わない」または「そうは思わない」と回答したものを『そうは思わない』と表記する。

問10(1)結婚について

設問「①結婚は個人の自由であるから、人は結婚してもしなくてもどちらでもよい」

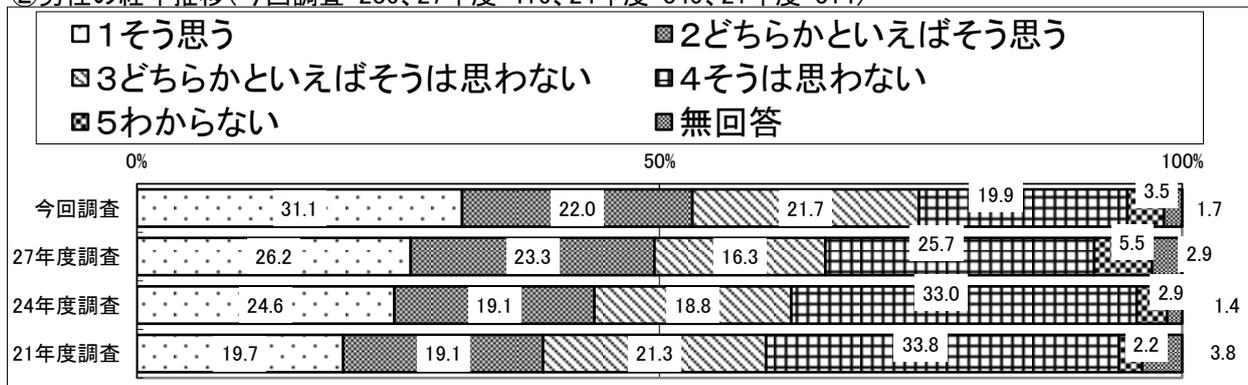
人は結婚してもしなくてもどちらでもよいに対して「そう思う」(34.8%)または「どちらかという
とそう思う」(27.0%) (以下、『そう思う』)と回答したものは61.8%であり、前回調査(53.5%)
より8.3ポイント増加し、6割を超えた。調査回数を重ねるごとに増加しており、増加傾向にある。
「そうは思わない」(14.6%)または「どちらかというとは思わない」(16.9%) (以下、『そ
うは思わない』)と回答したものは31.5%であり、前回調査(38.6%)より7.1ポイント減少した。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

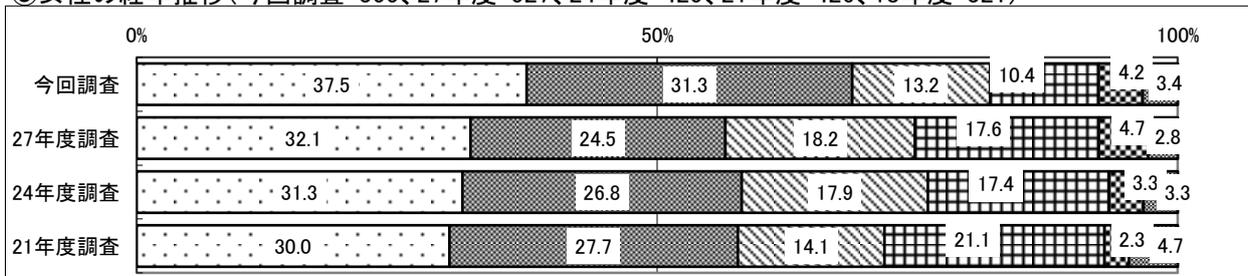


男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは53.1%であり、前回調査(49.5%)より3.6ポ
イント増加している。
女性で『そう思う』と回答したものは68.8%であり、前回調査(56.6%)より12.2ポイントと大幅に増
加し、6割を超えた。
男性より女性の方が『そう思う』と回答したものが多く傾向は前年調査と同様である。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)

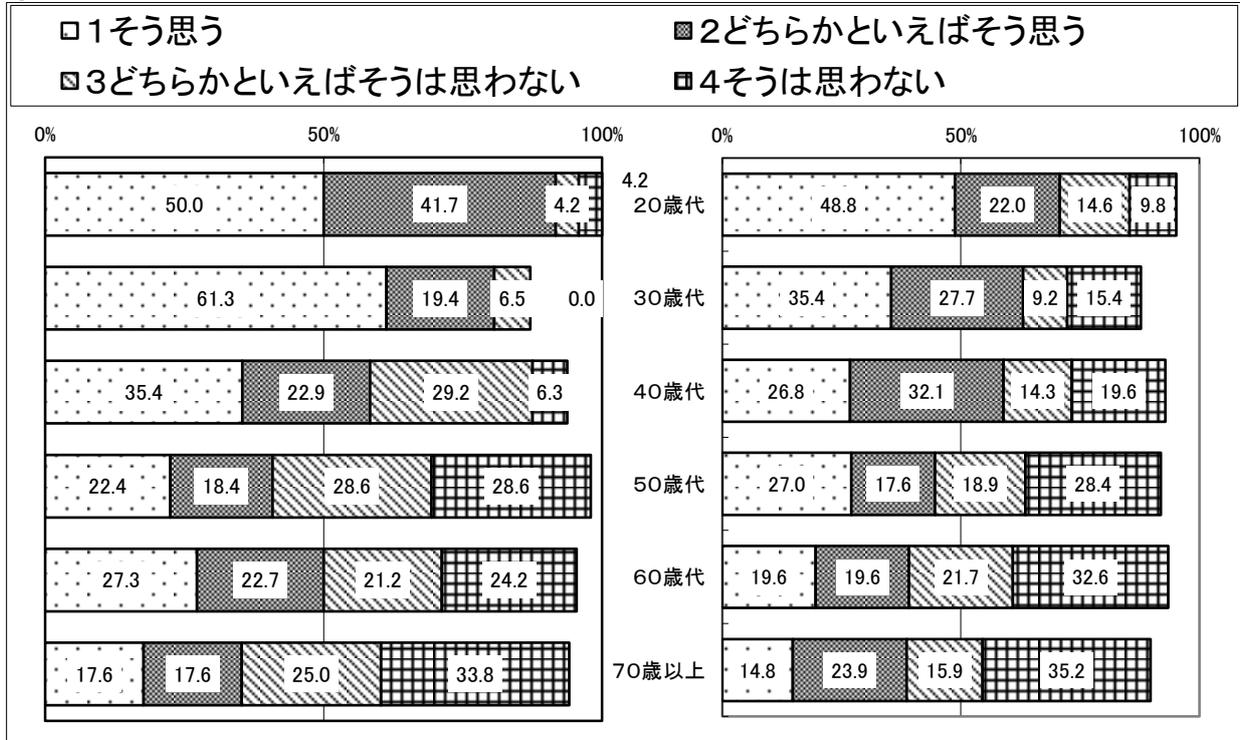


③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426、18年度=321)



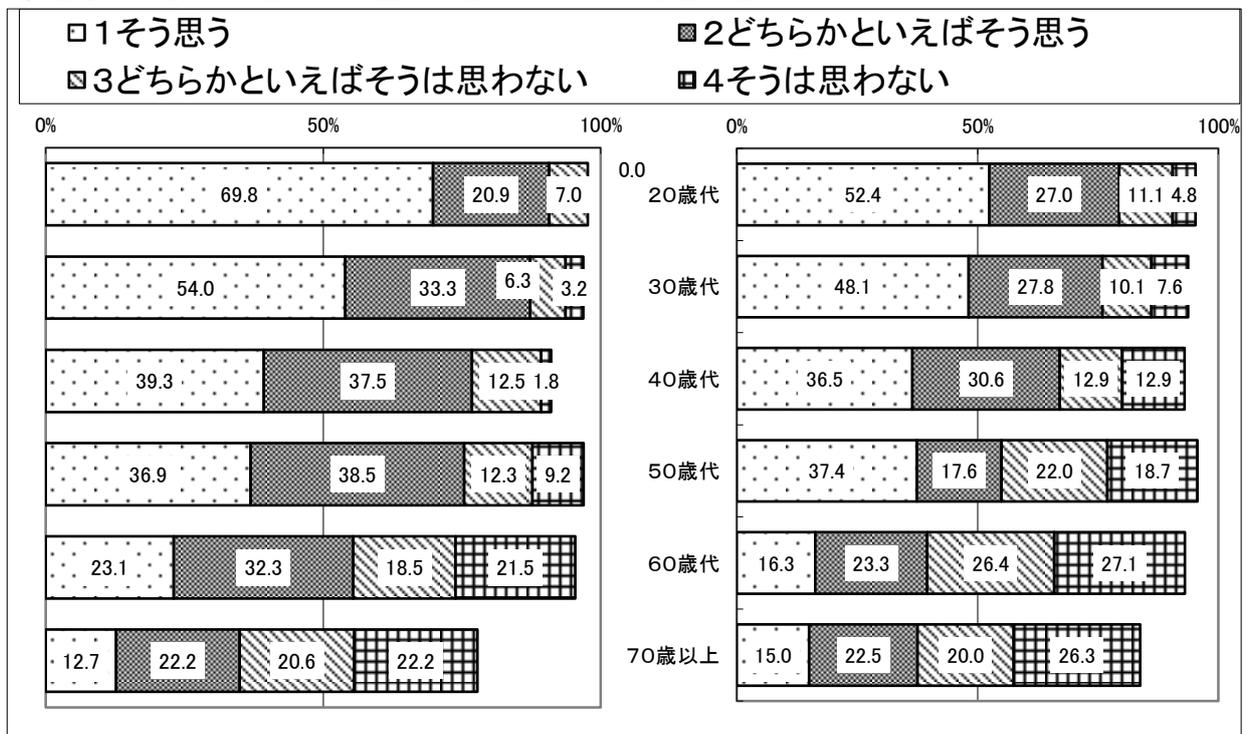
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものの割合は、男女共に「20歳代」が最も高く、男性91.7%、女性70.8%であり、前回調査(男性70.8%、女性79.4%)より男性は20.9ポイント増加し、女性は8.6ポイント減少した。
最も低いのは男女共に「70歳以上」であり、男性35.2%、女性38.7%である。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)



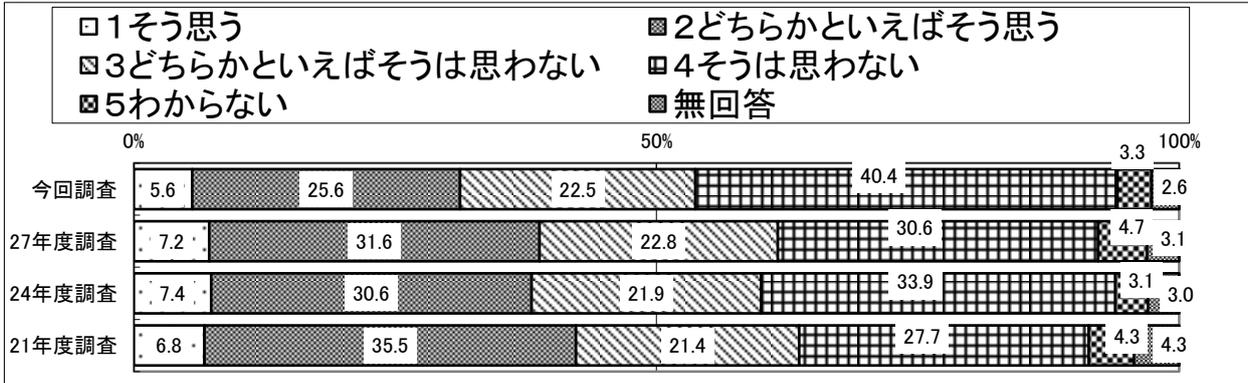
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問10(2)家庭について

設問「②女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど、家族を中心に考えて生活したほうがよい」

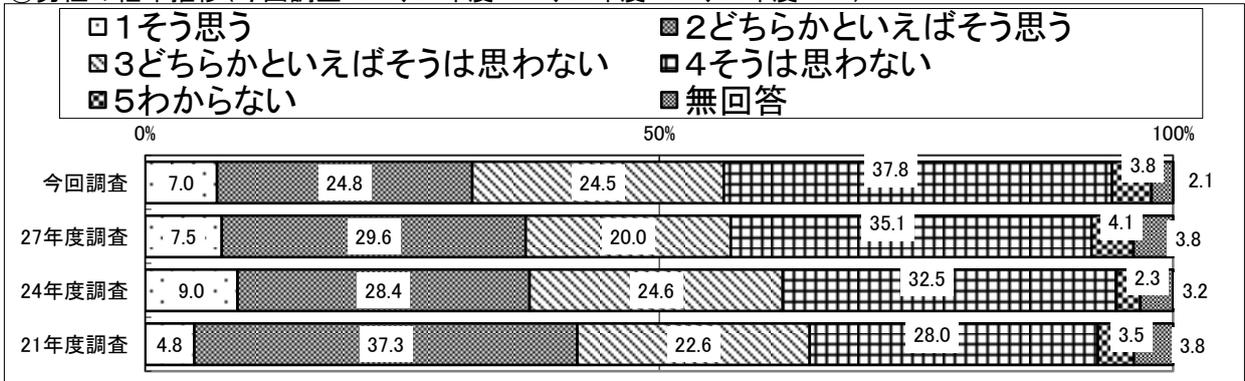
女性は結婚したら、自分自身のことより家族を中心に考えて生活したほうがよいに対して『そう思う』と回答したものは31.2%であり、前回調査(38.8%)より7.6ポイント減少した。
『そうは思わない』と回答したものは62.9%であり、前回調査(53.4%)より9.5ポイント増加し、6割を超えた。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

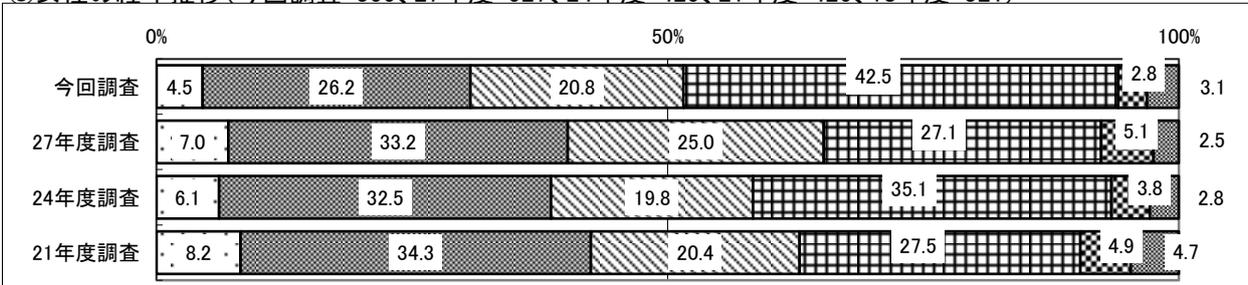


男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは31.8%であり、前回調査(37.1%)より5.3ポイント減少している。調査回数を重ねるごとに減少傾向にある。
女性で『そう思う』と回答したものは30.7%であり、前回調査(40.2%)より9.5ポイント減少している。4回の調査の中で最も低い割合となった。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)

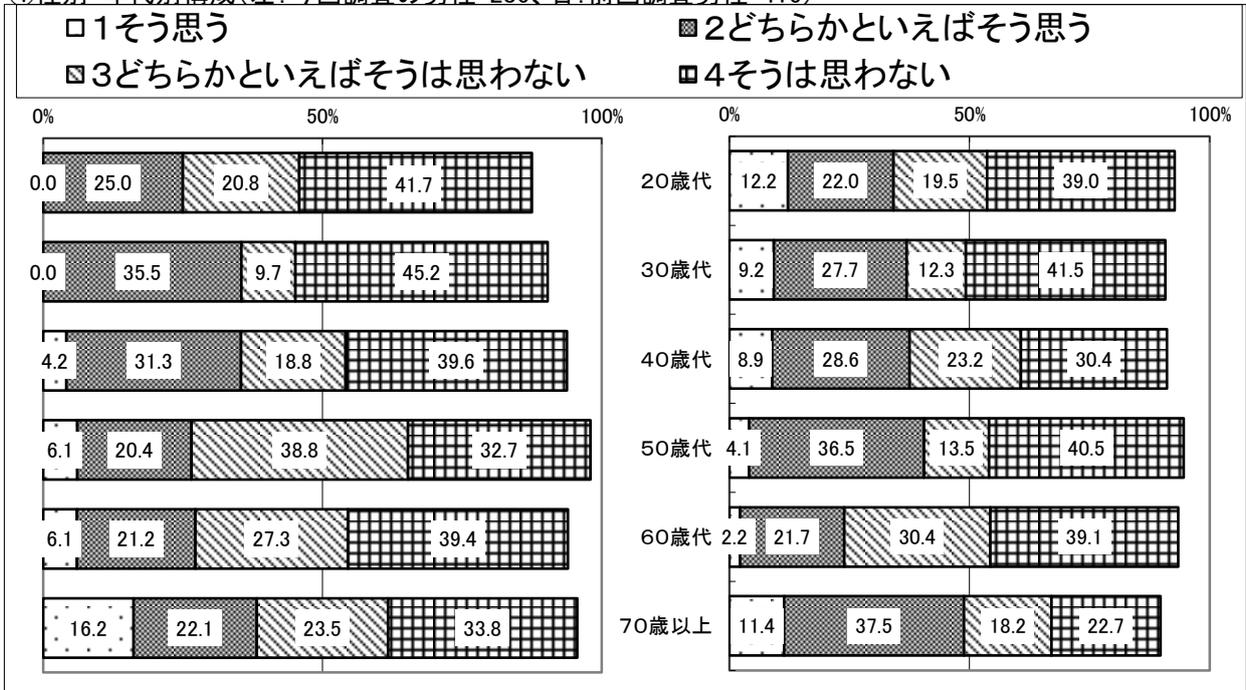


③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426、18年度=321)



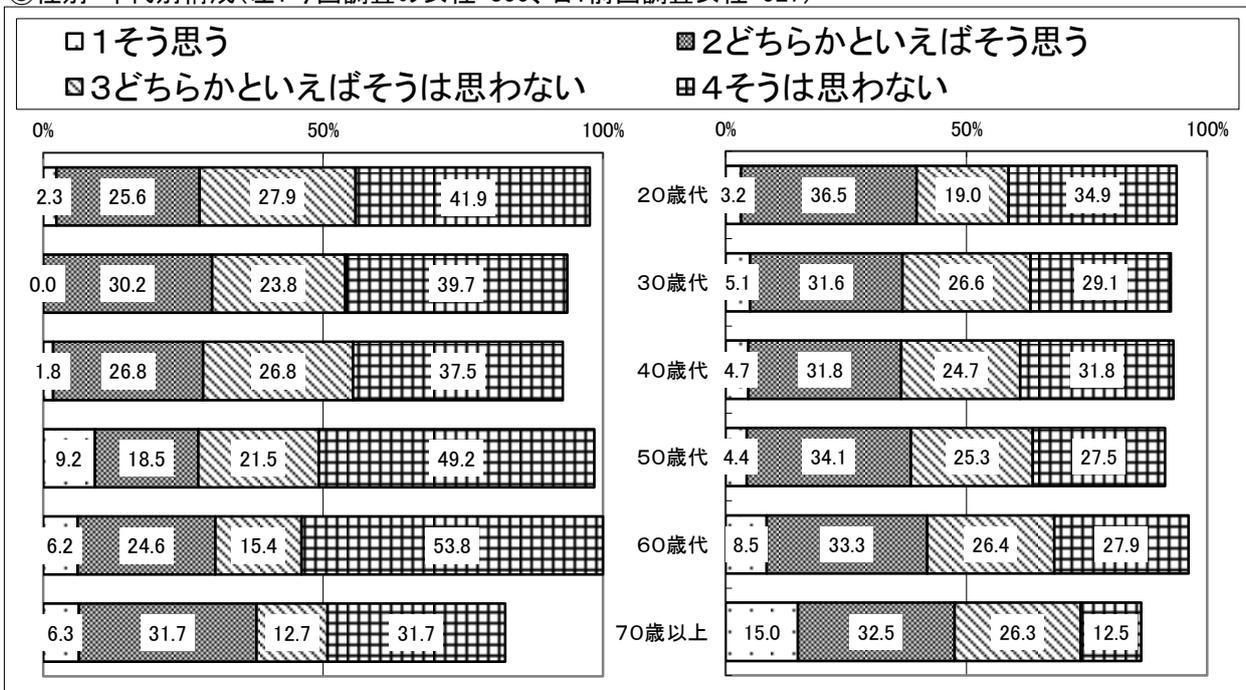
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものは、男女共に「70歳以上」が最も多く、男性38.3%、女性38.0%である。
 この傾向は前回調査と同様である。
 『そう思う』と回答したものは「50歳代男性」と「60歳代男性」、「50歳代女性」以外の年代・性別で減少傾向にある。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)

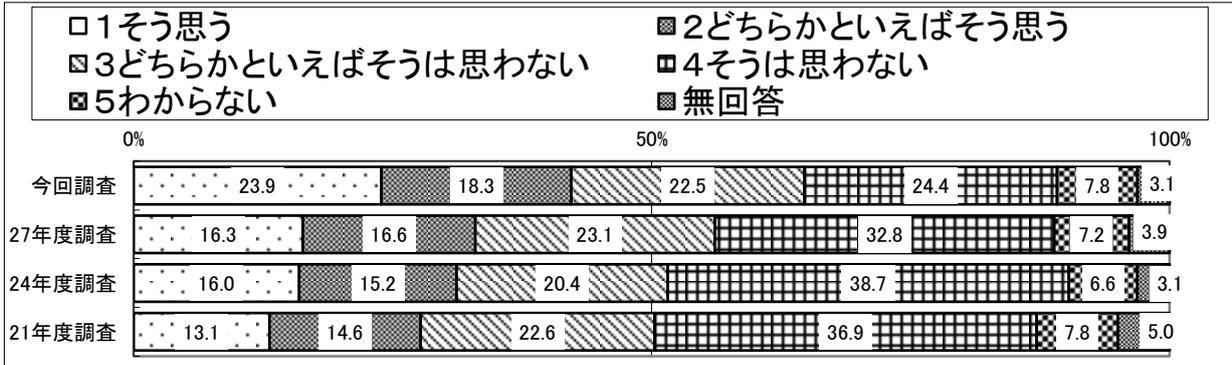


※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

設問「③結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」

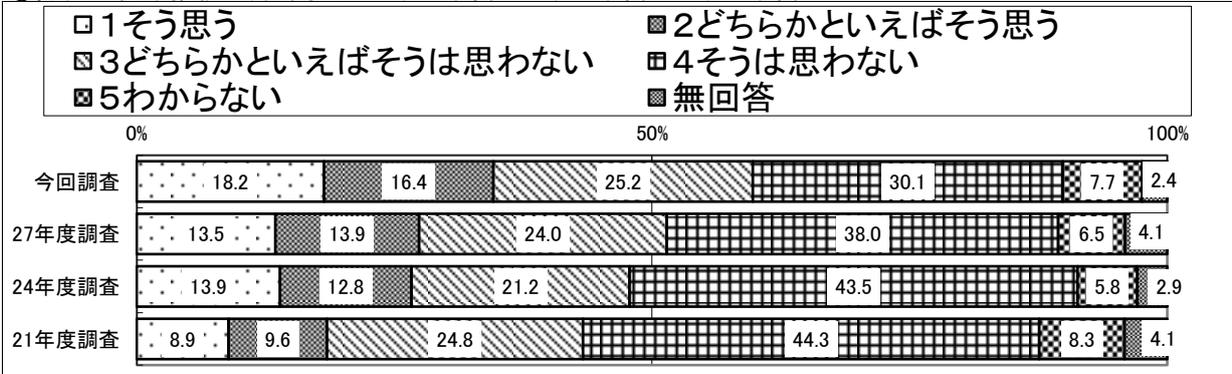
結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はないに対して『そう思う』と回答したものは42.2%であり、前回調査(32.9%)より9.3ポイント増加した。
また、『そうは思わない』と回答したものは46.9%であり、前回調査(55.9%)より9.0ポイント減少している。
調査回数を重ねるごとに『そう思う』は増加し、『そうは思わない』は減少している。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

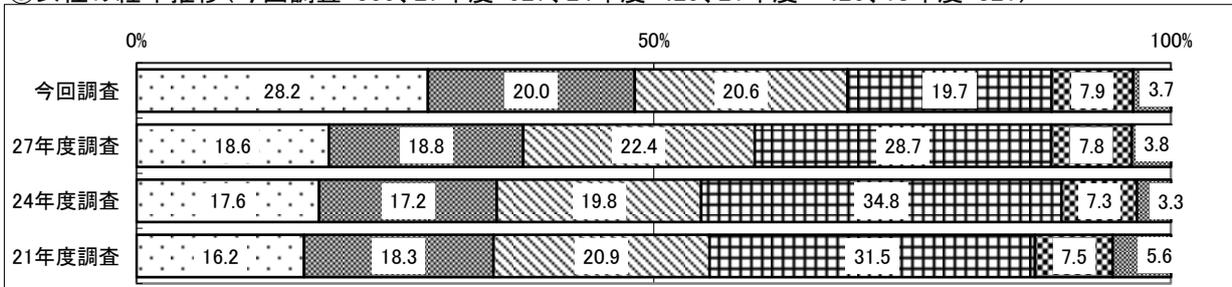


男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは34.6%であり、前回調査(27.4%)より7.2ポイント増加している。
女性で『そう思う』と回答したものは48.2%であり、前回調査(37.4%)より10.8ポイントと大幅に増加している。また、女性で『そう思う』と回答したものは、調査回数を重ねるごとに増加している。全ての調査年度においても、男性より女性の方の割合が高い。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)

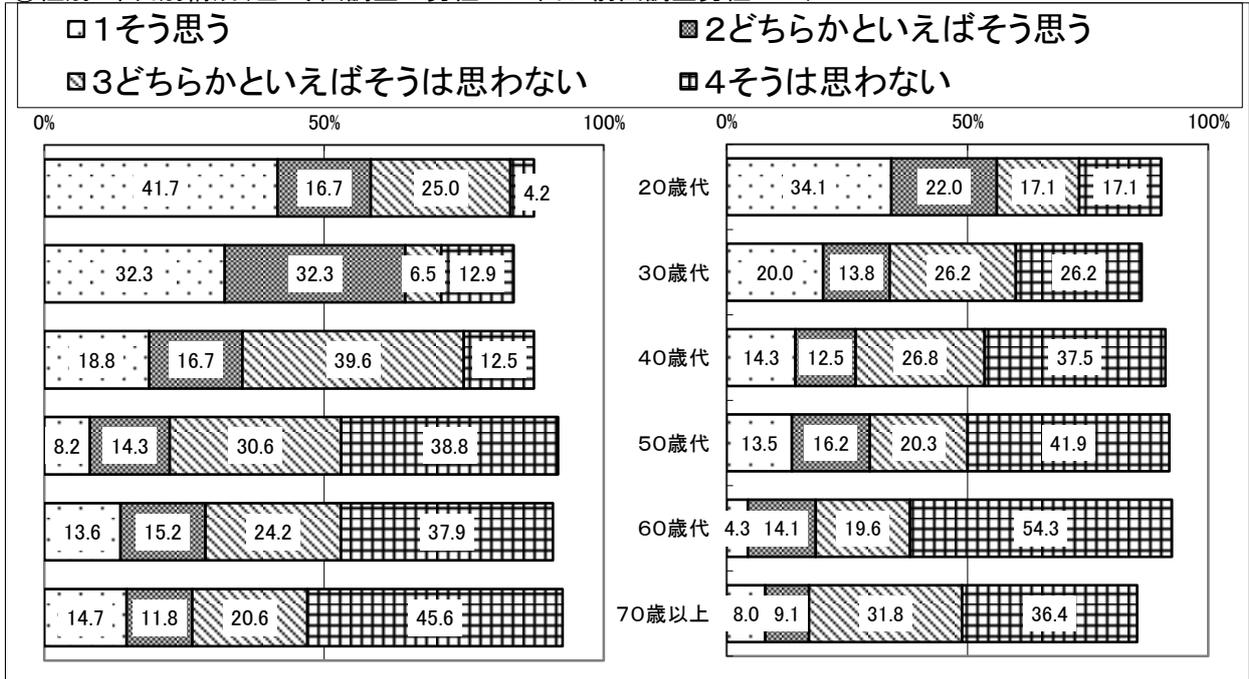


③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426、18年度=321)



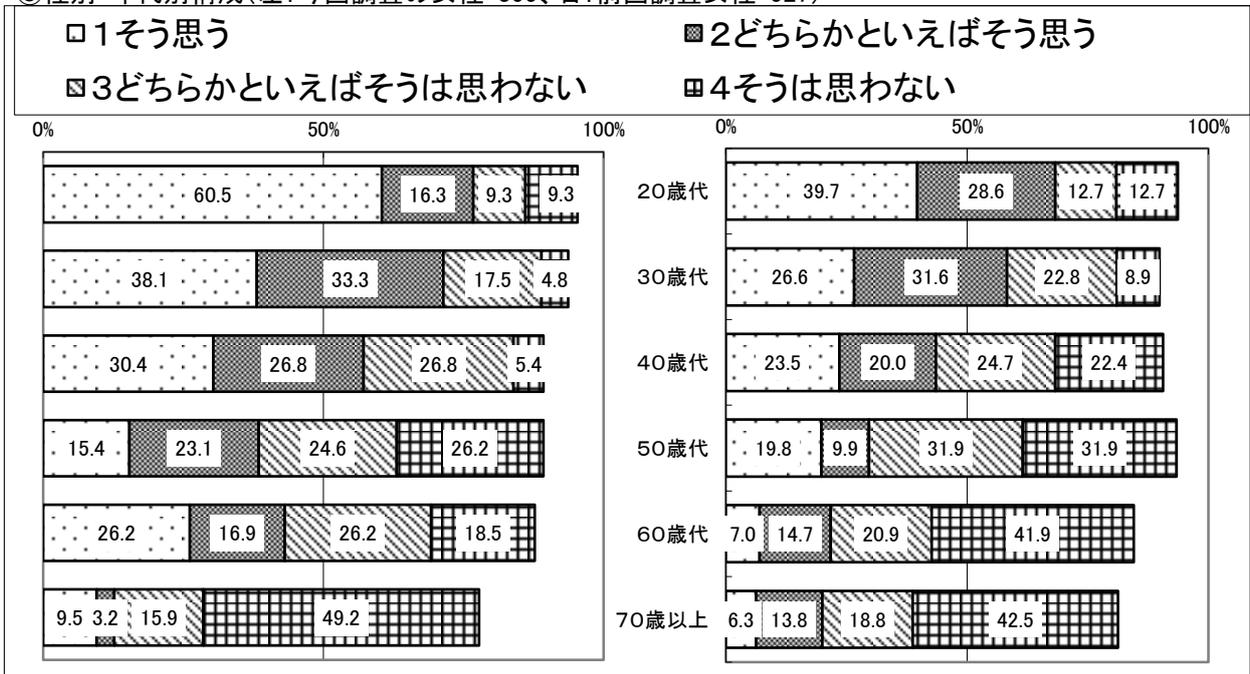
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものの割合が最も高い年代は、男性では「30歳代」(64.6%)、女性では「20歳代」(76.8%)である。
また、女性では「20歳代」(76.8%)と「30歳代女性」(71.4%)の2つの年代で7割を超えている。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)



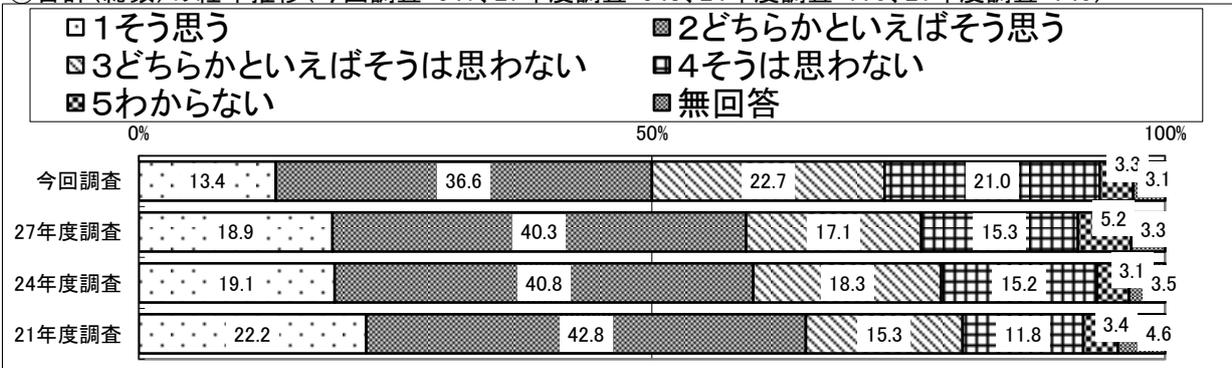
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

設問「④女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである」

女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もすべきであるに対して『そう思う』と回答したものは50.0%であり、前回調査(59.2%)より9.2ポイント減少し、24年度調査(59.9%)より9.9ポイント減少、21年度調査(65.0%)より15.0ポイント減少しており、減少傾向で推移している。

『そうは思わない』と回答したものは43.7%であり、前回調査(32.4%)より11.3ポイント増加している。

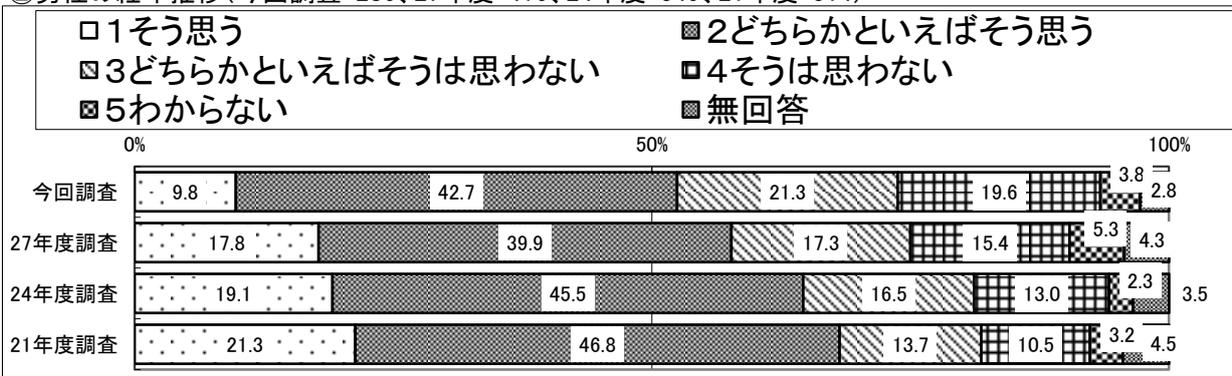
①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)



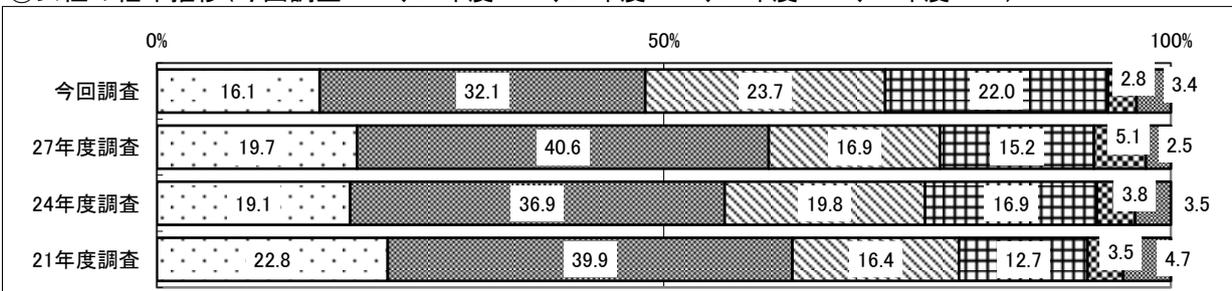
男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは52.5%であり、前回調査(57.7%)より5.2ポイント減少している。

女性で『そう思う』と回答したものは48.2%であり、前回調査(60.3%)より12.1ポイントと大幅に減少している。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)

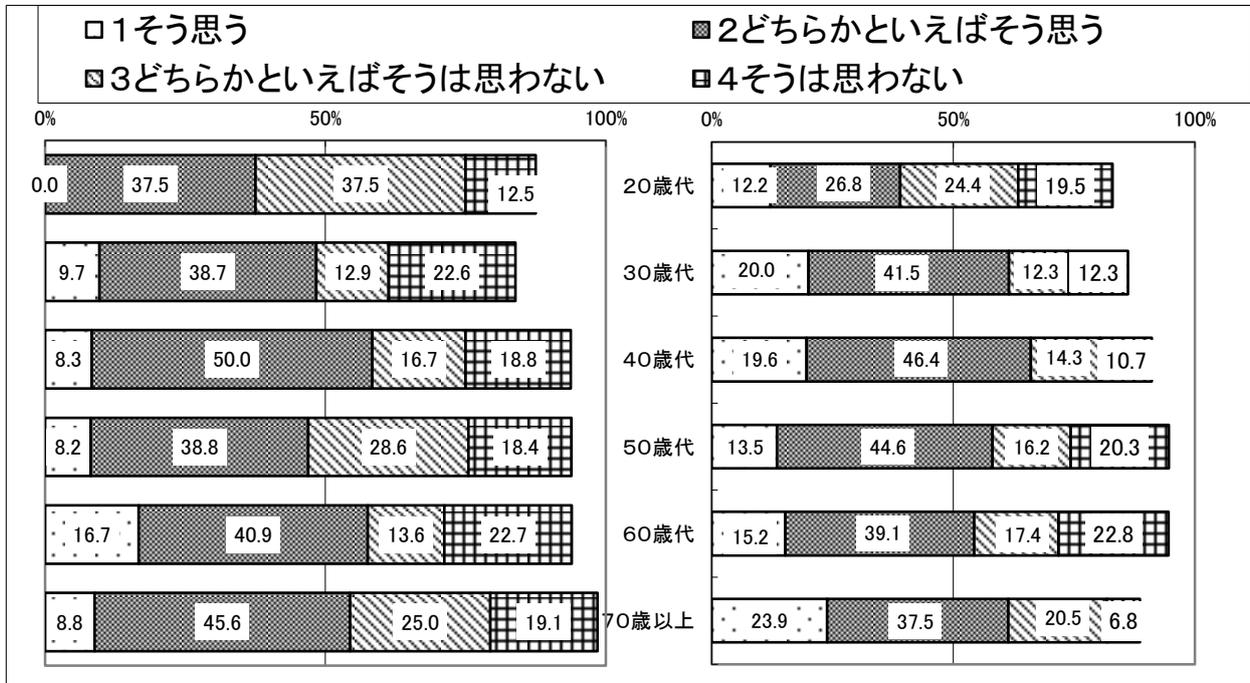


③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426、18年度=321)



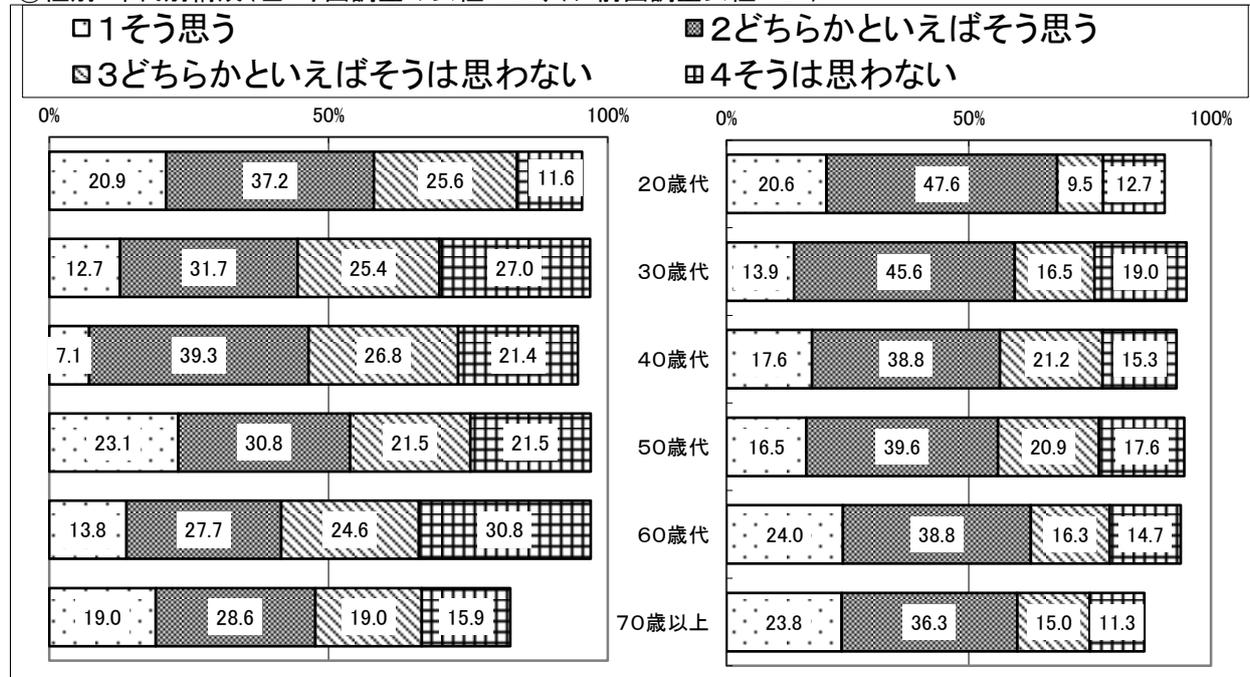
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものの割合が最も高い年代は、男性では「40歳代」(58.3%)、女性では「20歳代」(58.1%)である。
 男女差の最も大きい年代は「20歳代」であり、男性(37.5%)と女性(58.1%)では、女性の方が20.6ポイント高い。
 前回調査では『そう思う』と回答した女性は、全ての年代で5割を超えていたが、今回調査では「20歳代」(58.1%)と「50歳代」(53.9%)のみとなった。「60歳代男性」を除く全ての年代で減少傾向にある。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)



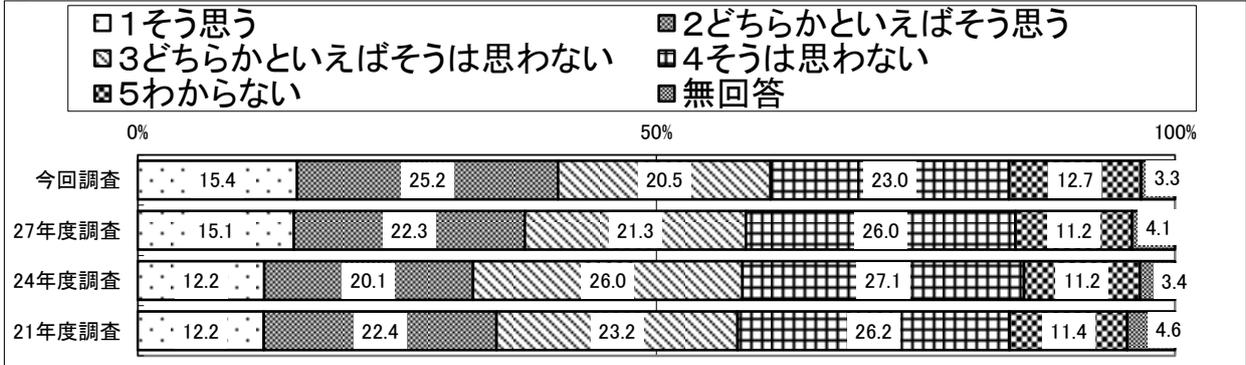
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問10(3)離婚について

設問「⑤結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよい」

結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよいに対して『そう思う』と回答したものは40.6%であり、前回調査(37.4%)より3.2ポイント増加し、4割を超えた。
『そうは思わない』と回答したものは43.5%であり、前回調査(47.3%)より3.8ポイント減少した。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

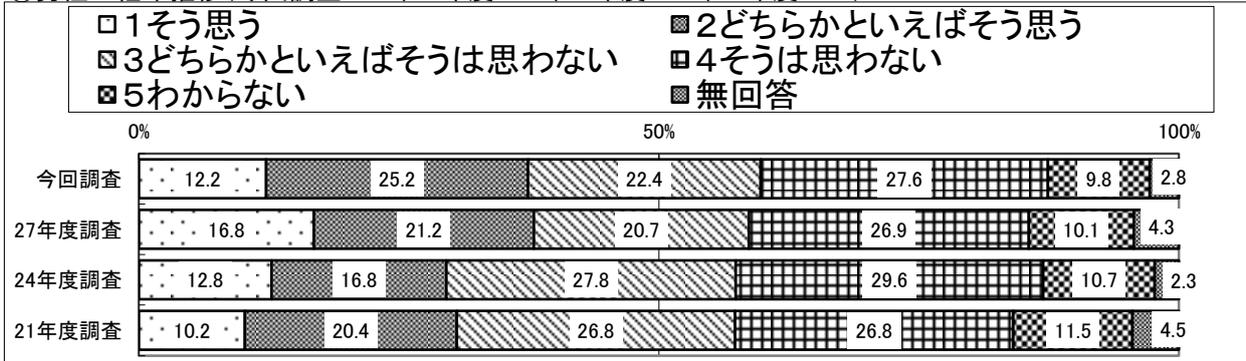


男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは37.4%であり、前回調査(38.0%)より0.6ポイント減少している。

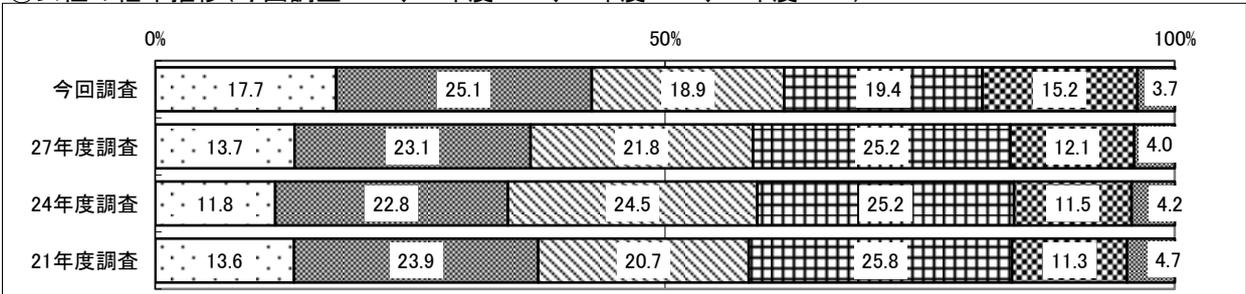
女性で『そう思う』と回答したものは42.8%であり、前回調査(36.8%)より6ポイント増加している。

男性(37.4%)と女性(42.8%)では、女性が5.4ポイント高い。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)



③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426)



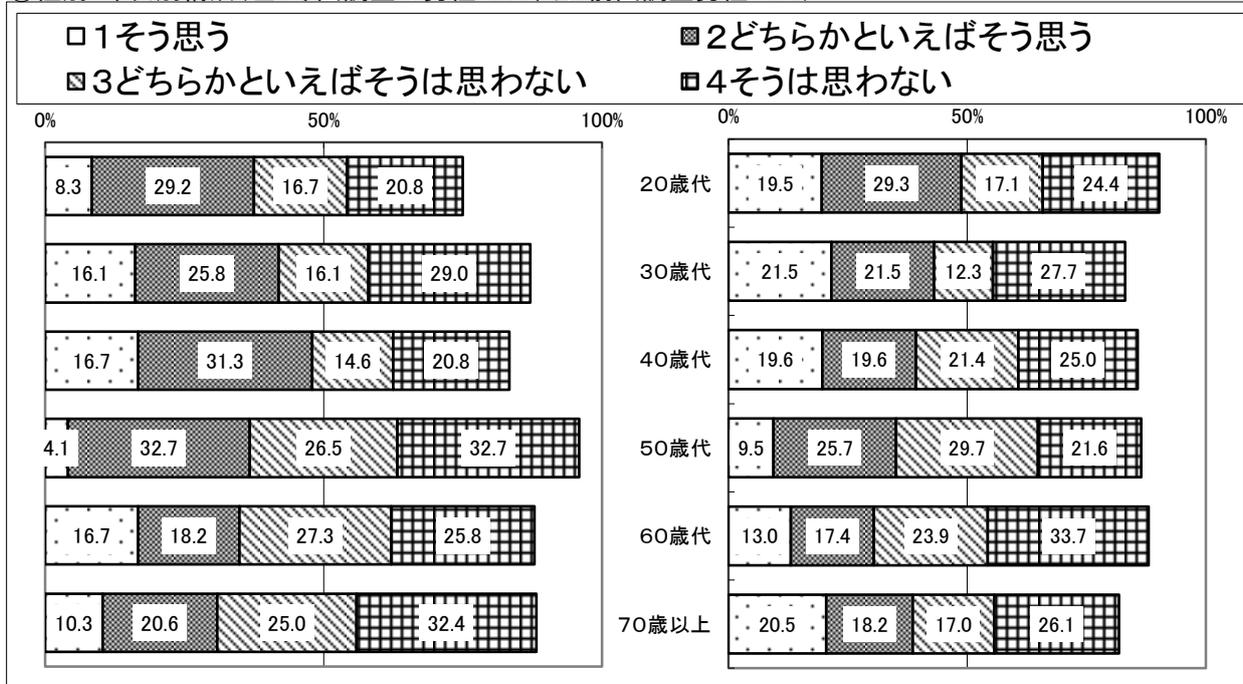
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものは、男性では「40歳代」(48.0%)、女性では「20歳代」(58.1%)である。

前回調査と比較すると『そう思う』は、女性では「70歳以上」以外の全ての年代で増加しており、「20歳代」(58.1%)は前回調査(42.8%)より15.3ポイントと大きく増加している。

『そう思う』と回答したもので、男女差の最も大きい年代は「20歳代」であり、男性(37.5%)と女性(58.1%)では、女性が20.6ポイント高い。また、「70歳以上女性」以外の全ての年代で女性の方が高い。

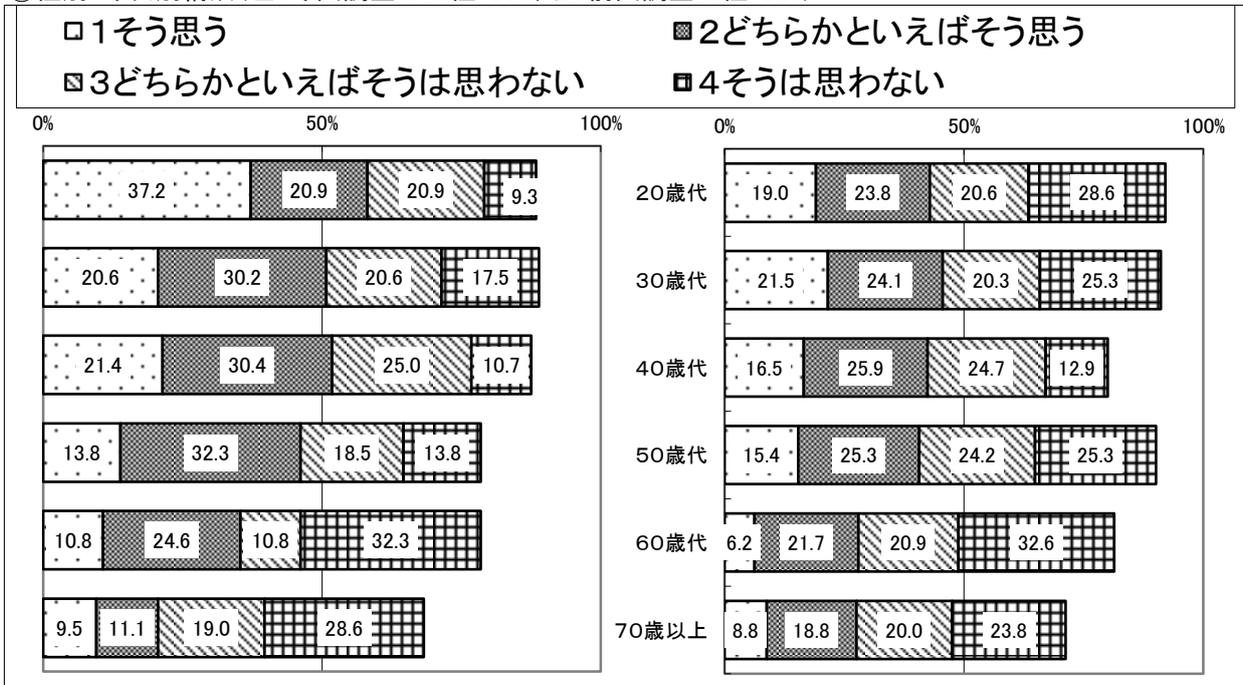
『そうは思わない』と回答したもので、男女差の最も大きい年代は「50歳代」であり、男性(59.2%)と女性(32.3%)では、男性が26.9ポイント高い。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)



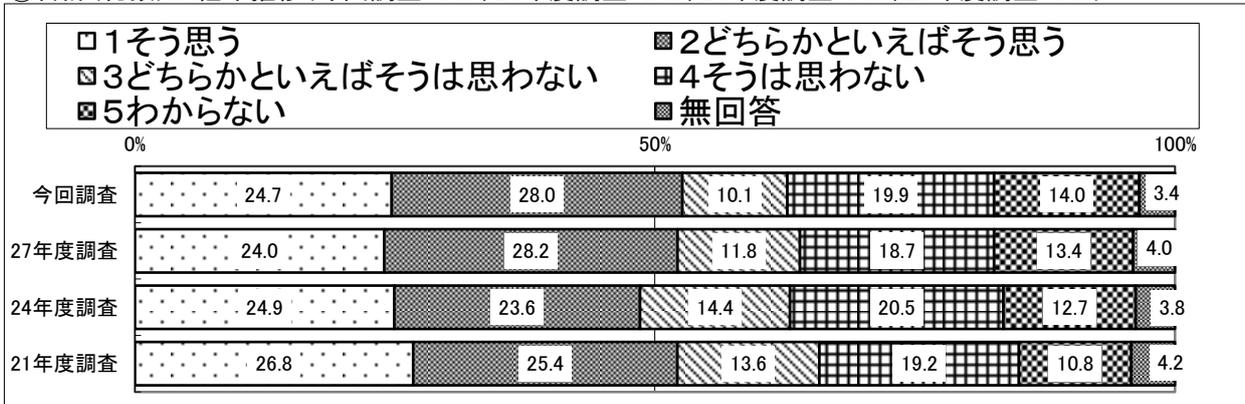
※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

設問「⑥一般に、今の社会では、離婚すると女性の方が不利である」

離婚すると女性の方が不利であるかに対して『そう思う』と回答したものは52.7%であり、前回調査(52.2%)より0.5ポイント増加している。

『そうは思わない』と回答したものは30.0%であり、前回調査(30.5%)より0.5ポイント減少している。
 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

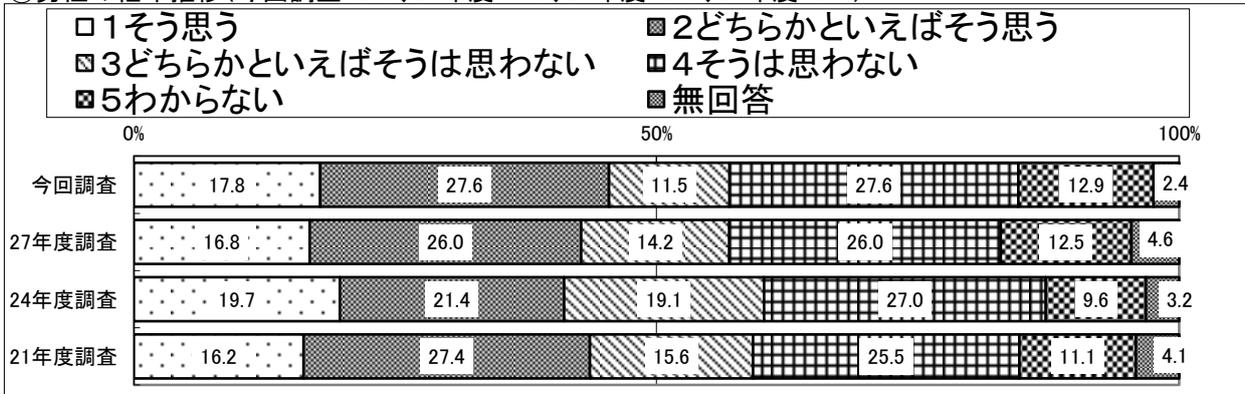


男女別にみると、男性で『そう思う』と回答したものは45.4%であり、前回調査(42.8%)より2.6ポイント増加している。

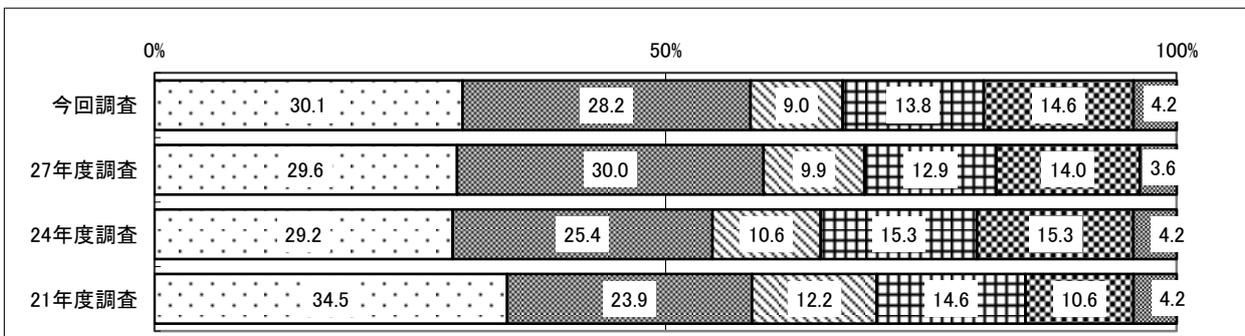
女性で『そう思う』と回答したものは58.3%であり、前回調査(59.6%)より1.3ポイント減少している。

『そう思う』と回答したものは、男性より女性の方が多く、この傾向はこれまでの調査と同じである。

②男性の経年推移(今回調査=286、27年度=416、24年度=345、21年度=314)

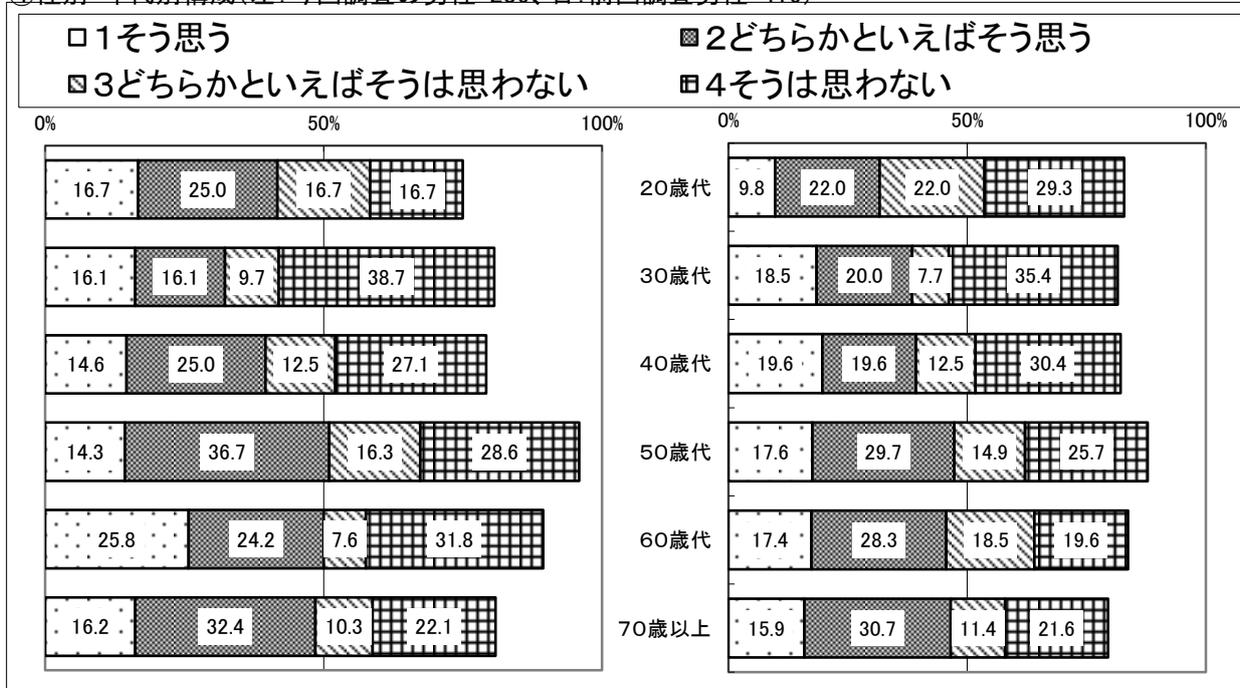


③女性の経年推移(今回調査=355、27年度=527、24年度=425、21年度=426)



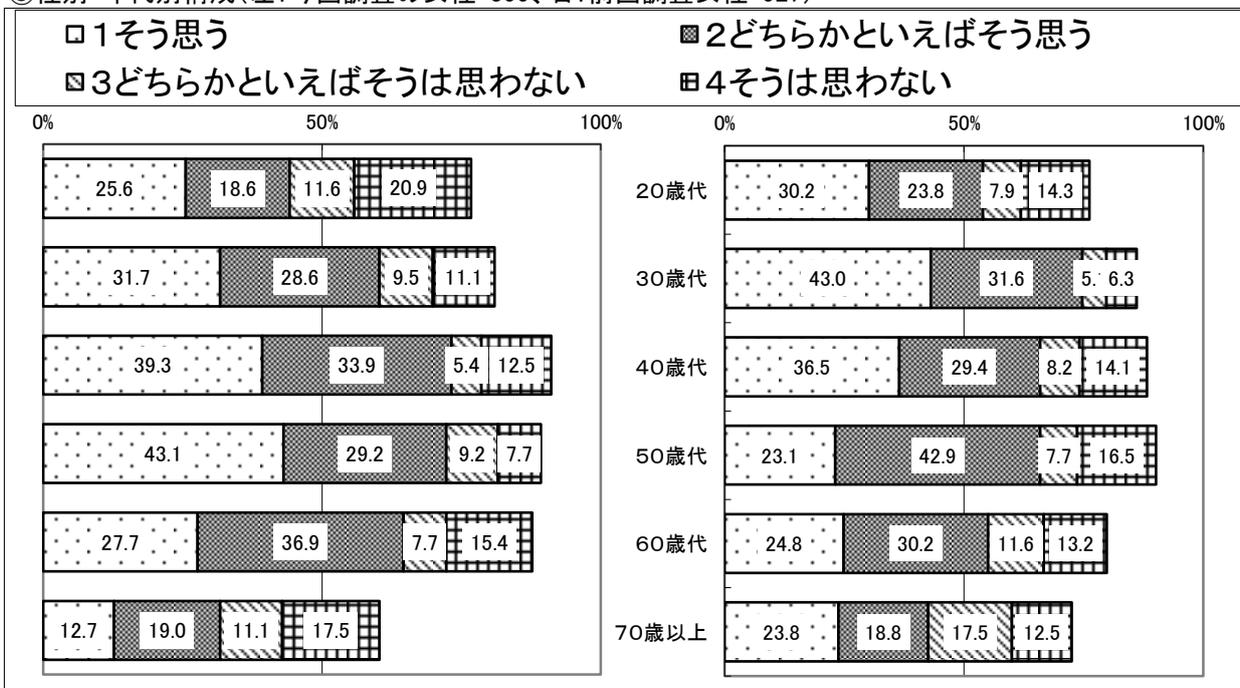
年代別・男女別にみると、『そう思う』と回答したものの割合が最も高い年代は、男性では「50歳代」(51.0%)、女性では「40歳代」(73.2%)である。
 男女差の最も大きい年代は「40歳代」であり、男性(39.6%)と女性(73.2%)では、女性が33.6ポイント高い。他に20ポイント以上差があったのは「30歳代」と「50歳代」であり、それぞれ28.1ポイント、21.3ポイント女性が高い。
 「70歳以上」では『そう思う』と回答したものは男性(48.6%)が、女性(31.7%)より16.9ポイント高く、他の年代では全て女性の方が高い。この傾向は前回調査と同じである。

④性別・年代別構成(左:今回調査の男性=286、右:前回調査男性=416)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

⑤性別・年代別構成(左:今回調査の女性=355、右:前回調査女性=527)



※グラフから一部のデータを省略した。今回調査データの詳細は、「Ⅳ 基礎集計表」の各表を参照

問11 最近、出生数が少なくなっていますが、あなたはその理由は何だと思えますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

出生数が少なくなっている理由は「経済的余裕がない」(72.4%)の割合が最も高く、次いで「教育にお金がかかる」(63.4%)、「仕事と子育ての両立困難」(60.9%)と続く。
 「経済的余裕がない」(72.4%)は前回調査(70.8%)より1.6ポイント増加、「教育にお金がかかる」(63.4%)は前回調査(58.6%)より4.8ポイント増加した。
 「仕事と子育ての両立困難」(60.9%)は前回調査(63.9%)より3.0ポイント減少しており、この項目は調査回数を重ねるごとに減少している。

①合計(総数)の経年推移(今回調査=641、27年度調査=943、24年度調査=770、21年度調査=740)

